

第24期 スマート・クルーズ・アカデミー 2025年度第1弾

<東京⇒基隆(台北)>



3泊4日「MSC ベリッシマ」
6/5-6/8

スマート・クルーズ・アカデミー & 全国クルーズ活性化会議「研修クルーズ」共同企画



スマート・クルーズ・アカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

スケジュール



日次	日付	
1	6/5 (木)	午後、東京国際クルーズターミナル集合 「MSCベリッシマ」乗船手続き 15:00 東京港（日本）出港
2	6/6 (金)	終日クルーズ
3	6/7 (土)	終日クルーズ
4	6/8 (日)	8:30 基隆（台湾）入港

全体スケジュール

★は全員参加です。						
スマートクルーズアカデミー@MSC Bellissimaの詳細スケジュール						
No.	Date	寄港地	Time	スケジュール	会場(予定)	注意
1	6月5日 (木)	東京	12:00	集合(東京クルーズターミナル)	東京クルーズバス	
			随時	チェックイン		
			13:00	乗船後ランチ(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
			15:30	避難訓練(船内新聞等で時間確認!変更可能性あり)	乗船後、各自場所を確認	
			16:30	出港(東京港出港シーン、出港PARTY見学)	デッキ15・16	
			17:00	★WELCOM MEETING(自己紹介) ★スポーツ懇親会	Sportplex(デッキ16)	
			18:00	自由行動(スライダー、卓球、プール、アスレティック)		
			19:30	★コースディナー(乗船時に時間確認!変更可能性あり)	レストラン	
			22:15	ショータイム(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	シアター	
			23:00	ショー&パーティー等(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	プロムナード等	
			夜	夜食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
2	6月6日 (金)	海の日	8:00頃	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	デッキ16	
			朝	朝食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
			10:00	★スマートクルーズアカデミー プレゼン大会	Business centre(デッキ5)	
			12:00	ランチ(各自)	レストラン	
			午後	自由行動(スライダー、卓球、プール、アスレティック)		
			19:30	★コースディナー(乗船時に時間確認!変更の可能性あり)	レストラン	
			20:15	キャプテン&オフィサープレゼンテーション(フォーマルであれば)	プロムナード	フォーマルの可能性あり
			22:00	ショータイム(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	シアター	
			23:00	ショー&パーティー等(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	プロムナード等	
			夜	おしゃべりの会&夜食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
5	6月7日 (土)	海の日	8:00頃	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	デッキ16	
			朝	朝食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
			10:00	★クルーとの交流会	Business centre(デッキ5)	
			12:00	ランチ(各自)	レストラン	
			午後	自由行動(スライダー、卓球、プール、アスレティック)	デッキ	
			19:30	★コースディナー(乗船時に時間確認!変更の可能性あり)	レストラン	
			22:00	ショータイム(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	シアター	
			23:00	ショー&パーティー等(各自)(船内新聞で時間確認!変更可能性あり)	プロムナード等	
			夜	おしゃべりの会&夜食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
6	6月8日 (日)	基隆	7:30頃	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	デッキ	
			朝	朝食(各自)	マーケットプレイスビュッフェ	
			8:30	入港(基隆港入港シーン見学)	デッキ15・16	
			8:30	★スマートクルーズアカデミー 体験報告	スカイラウンジ右奥	
			適宜	下船後解散 帰路		

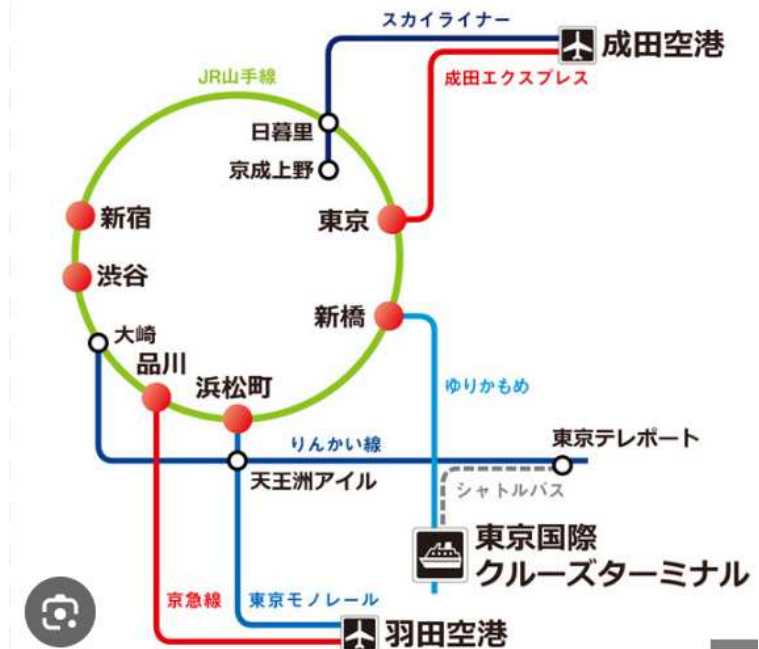
＊ショータイム等は時間変更等の可能性があります。毎日、船内新聞をチェック!



乗船場所について

Terminal Information 東京港客船ターミナル

<https://www.tptc.co.jp/terminal/access/cruise>



2) 集合場所

ご集合場所: **東京国際クルーズターミナル** 〒135-0064 東京都江東区青海二丁目地先

お荷物のチェックインは東京国際クルーズターミナルにて承ります。(受付開始 9:30-)

- ❖ お預けになる荷物には必ず乗船券と同封のラゲージタグをお取り付けください。
- ❖ 乗船チケット、パスポート、常備薬などの必要なものは、お預けになる荷物には入れず、手荷物としてお持ち込みください。
- ❖ お預けの荷物は夕方以降にお客様のお部屋の前に届けられます。
- ❖ ご予約をお持ちでない方(お見送り等)はターミナルには入れませんのでご注意ください。

3) 東京国際クルーズターミナルへのアクセス

公共交通機関

- ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅」から徒歩約 8 分
- りんかい線「東京テレポート駅」から無料シャトルバスにて 10 分
(東京国際クルーズターミナル港-東京テレポート駅間のピストン運行)

スマート・クルーズ・アカデミー参加者名簿

整理 番号		キャビン 番号	大学名	所属	学年	氏名	よみがな	性別
1	トリプル	14112	大阪大学	国際公共政策	一	赤井伸郎	あかい のぶお	男
2			京都産業大学	経済学部	一	倉本宜史	くらもと たかし	男
3			名城大学	経済学部	一	加藤真也	かとう しんや	男
4	ツイン	14150	中京大学	経済学部	一	齊藤由里恵	さいとう ゆりえ	女
5			札幌大学	経済学部	一	武者加苗	むしゃ かなえ	女
6	ツイン	14266	大阪大学	法学部	3	藤原 秀輔	ふじわら しゅうすけ	男
7			大阪大学	法学部	3	水野 瑛太	みずの えいた	男
8	ツイン	13314	大阪大学	法学部	3	鈴木 瑛介	すずきえ いすけ	男
9			大阪大学	法学部	3	戸村 陸大朗	とむら りくたろう	男
10	ツイン	13352	大阪大学	法学部	3	三好 希実	みよし のぞみ	女
11			大阪大学	法学部	3	ガルバヤル・ルハ グワスレン	らばやる・るはぐわす	女
12	ツイン	13237	大阪大学	法学部	4	林 美佳	はやし みか	女
13			大阪大学	法学部	4	西田 実富結	にしだ みふゆ	女
14	ツイン	13330	大阪大学	法学部	2	鈴木 亜美	すずき つぐみ	女
15			大阪大学	法学部	2	中山 桃花	なかやま ももか	女
16	ツイン	13282	大阪大学	法学部	2	北野 貴大	きたの たかひろ	男
17			大阪大学	法学部	2	浅井 照	あさい てる	男
18	ツイン	13225	大阪大学	法学部	4	西木 和佳乃	にしき わかの	女
19			札幌大学	経済学部	4	中嶋 しずく	なかじま しずく	女
20	ツイン	14230	札幌大学	経済学部	4	富木 善	とみき ぜん	男
21			札幌大学	経済学部	3	萱森 琉生	かやもり りゅうき	男
22	ツイン	13310	大阪大学	法学部	4	前田 裕輝	まえだ ゆうき	男
23			山口大学	経済学部	3	東郷 修	とうごう しゅう	男
24	ツイン	14139	山口大学	経済学部	2	寺田 愛梨	てらだ あいり	女
25			山口大学	経済学部	2	三本木 優亜	さんぼんぎ ゆうあ	女
26	ツイン	13318	山口大学	経済学部	3	大熊 琉介	おおくま りゅうすけ	男
27			山口大学	経済学部	2	川田 航平	かわだ こうへい	男
28	ツイン	14154	山口大学	経済学部	2	守屋 拓慶	もりや ひろよし	男
29			山口大学	経済学部	2	河合 悠太	かわい ゆうた	男
30	ツイン	14238	名城大学	経済学部	2	佐野 領柄	さの りょうへい	男
31			名城大学	経済学部	2	垣本 雅人	かきもと まさと	男

第24期SCA 令和7年度 【MSCベリッシマ】 名簿								
整理 番号	大学名	所属	学年	氏名	よみがな	性別	発表 グループ	スポーツ 大会
1	大阪大学	国際公共政策	一	赤井伸郎	あかい のぶお	男		
2	京都産業大学	経済学部	一	倉本宜史	くらもと たかし	男		
3	名城大学	経済学部	一	加藤真也	かとう しんや	男		
4	中京大学	経済学部	一	齊藤由里恵	さいとう ゆりえ	女		
5	札幌大学	経済学部	一	武者加苗	むしゃ かなえ	女		
6	大阪大学	法学部	3	藤原 秀輔	ふじわら しゅうすけ	男	③	A
7	大阪大学	法学部	3	水野 瑛太	みずの えいた	男	②	A
8	大阪大学	法学部	3	鈴木 瑛介	すずきえ いすけ	男	①	B
9	大阪大学	法学部	3	戸村 陸大朗	とむら りくたろう	男	⑥	B
10	大阪大学	法学部	3	三好 希実	みよし のぞみ	女	⑤	A
11	大阪大学	法学部	3	ガルバヤル・ルハグワスレン	がるばやる・るはぐわすれん	女	④	B
12	大阪大学	法学部	4	林 美佳	はやし みか	女	①	C
13	大阪大学	法学部	4	西田 実富結	にしだ みふゆ	女	⑤	D
14	大阪大学	法学部	2	鈴木 亜美	すずき つぐみ	女	④	E
15	大阪大学	法学部	2	中山 桃花	なかやま ももか	女	⑤	F
16	大阪大学	法学部	2	北野 貴大	きたの たかひろ	男	⑥	C
17	大阪大学	法学部	2	浅井 照	あさい てる	男	②	C
18	大阪大学	法学部	4	西木 和佳乃	にしき わかの	女	③	F
19	札幌大学	経済学部	4	中嶋 しずく	なかじま しずく	女	④	A
20	札幌大学	経済学部	4	富木 善	とみき ぜん	男	②	D
21	札幌大学	経済学部	3	萱森 琉生	かやもり りゅうき	男	③	D
22	大阪大学	法学部	4	前田 裕輝	まえだ ゆうき	男	⑥	D
23	山口大学	経済学部	3	東郷 修	とうごう しゅう	男	②	E
24	山口大学	経済学部	2	寺田 愛梨	てらだ あいり	女	①	B
25	山口大学	経済学部	2	三本木 優亜	さんぼんぎ ゆうあ	女	③	C
26	山口大学	経済学部	3	大熊 琉介	おおくま りゅうすけ	男	①	E
27	山口大学	経済学部	2	川田 航平	かわだ こうへい	男	④	E
28	山口大学	経済学部	2	守屋 拓慶	もりや ひろよし	男	⑤	F
29	山口大学	経済学部	2	河合 悠太	かわい ゆうた	男	⑥	F
30	名城大学	経済学部	2	佐野 領柄	さの りょうへい	男	⑥	F
31	名城大学	経済学部	2	垣本 雅人	かきもと まさと	男	⑤	E

5日夕刻 Welcome Meeting & スポーツ交流会

「Welcome Meeting & スポーツ交流会」

Welcome Meeting 担当:全教員

スポーツ交流会 担当:加藤真也(名城大学)

2025年6月5日<木>17:00-18:00

場所:Sportplex (デッキ5Sportple16)

第24期スマート・クルーズ・アカデミー(SCA)を
より楽しく、充実させるための交流会!

*動きやすい服装で集合

*運動靴での参加が望ましい

6日午前 スマートクルーズアカデミープレゼンテーション

第24期 スマート・クルーズ・アカデミー 学生向け課題

1. 課題

クルーズ船内にて、以下の①と②の2点の課題の内容をグループで考え、2日目の午前中に集合する時間で、発表してください。

2. 課題内容

① キャッチコピーの作成

- ・ **目的:** クルーズ船に乗って旅行をする大学生を増やすため。
- ・ **内容:** これまでクルーズ船に乗ったことのない大学生が乗ってみたいと思えるキャッチコピーを考え、発表してください。

② キャッチコピーの意図の発表

- ・ **内容:** 作成したキャッチコピーの意図を発表してください。
- ・ **発表形式:** 会場では全員で前に出て、口頭で発表してください。発表は誰が行ってもよいので、事前に決めておいてください。

3. 参考資料

キャッチコピーの作成にあたり、資料とする PDF 資料については全員、乗船前に必ず目を通して、内容を理解しておいてください。

- ・ 資料名「札大__クルーズアカデミー用」

4. 注意事項

- ・ **文字数制限:** なし。ただし、口頭での発表は最長で5分、つまり5分以内に行ってください。
- ・ **グループ名簿:**

- ① 林さん(阪大4回生)、大熊さん(山大3回生)、鈴木さん(阪大3回生)、寺田さん(山大2回生)、
- ② 富木さん(札大4回生)、東郷さん(山大3回生)、水野さん(阪大3回生)、浅井さん(阪大2回生)、
- ③ 西木さん(阪大4回生)、萱森さん(札大3回生)、藤原さん(阪大3回生)、三本木さん(山大2回生)、
- ④ 中嶋さん(札大4回生)、ガルヤバルさん(阪大3回生)、鈴木さん(阪大2回生)、川田さん(山大2回生)、
- ⑤ 西田さん(阪大4回生)、三好さん(阪大3回生)、中山さん(阪大2回生)、守屋さん(山大2回生)、垣本さん(名城大2回生)
- ⑥ 前田さん(阪大4回生)、戸村さん(阪大3回生)、北野さん(阪大2回生)、河合さん(山大2回生)、佐野さん(名城大2回生)

- ・ **LINE グループ作成:** クルーズ船に乗ってからすぐに作業ができるように、グループのメンバーと乗船前に LINE グループを作って、挨拶をしておいてください。
- ・ **船内でのグループ活動:** 発表前の船内でのグループ活動は、各グループで予定を立てて行動してください。
- ・ **「事実をただ並べている」→説明しているだけ、にならないよう、資料を読んでみてください。また、参考資料には札幌大学での授業中に練習も書いてあります。乗船前に、実際に自分で練習をしてみましょう。**

他にも質問があれば、LINE かメール (kuramoto@cc.kyoto-su.ac.jp) まで、お問い合わせください。

7 日午前 クルーとの交流会

「クルーとの交流会」

担当：赤井伸郎（大阪大学・SCA 代表）

2025 年 6 月 7 日<土> 10:00-12:00

場所：Business Centre（デッキ5）

内容

クルーズ船は、船舶運航、ホテル部門、ゲストサービス部門、レストラン部門等、

多岐にわたる仕事内容、組織で構成されています。

また、多様な国籍のクルーが働いています。それぞれの仕事の特徴や、仕事に対する思いから、船や発着国での仕事内容の違いの有無や工夫など、各部門の担当者にインタビューできる貴重な機会です。

内容

特に満足したポイントを3つ.....	11
申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ.....	13
クルーズの概要を知ったときの感想および参加を決定した理由	15
申し込み後、乗船日前夜に考えたこと	17
乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想	21
乗船直後の感想	24
避難訓練、安全対策への感想.....	27
クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想	31
"船内サービス(ソフト) の感想	34
"船内の SHOW やエンターテインメントの感想	40
"船内の施設での体験に関する感想	44
乗船・下船港(那覇)での感想	51
寄港地（石垣島）での感想	エラー! ブックマークが定義されていません。
寄港地（基隆）での感想.....	54
寄港地（宮古島）での感想	エラー! ブックマークが定義されていません。
各港湾（自治体）からのプレゼン・パネル討論を聞いての感想.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
学生プレゼンに対しての感想.....	61
スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望.....	70
地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想.....	74
寄港地の地域活性化に向けた、クルーズ船社（今回でいえば MSC）の役割、船社が直面する課題、今後船社に期待すること	エラー! ブックマークが定義されていません。
クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点).....	エラー!
ブックマークが定義されていません。	
クルーズ全般への感想	78
***	82

学生アンケート

特に満足したポイントを3つ

1. 船内の設備が綺麗で、大きい:ビュッフェが夜遅くまで空いている:ディナーが美味しい
2. 新しい友達やつながりができたこと。:パーティーやショーなど非日常を楽しめたこと。:クルーの方とも交流を楽しめたこと。
3. 特にホワイトパーティーや夕ご飯の時に他大学の人と交流を深めることができたところ。レベルの高いショーを船内で鑑賞することができたところ。おいしいご飯が食べれたところ。
4. "・ベリッシマという船自体のクオリティが高かったこと:3泊4日ではあったもののプレゼンテーションが他大学混合チームだったため交流ができたこと:終日航海が2日あり船を満喫できたこと"
5. 人数が少なく他大学の学生と仲良くなれた点、キャッチコピーのワークで他のグループによる様々なキャッチコピーを勉強することができた点、部屋にバルコニーが付いていて部屋での時間が充実していた点
6. 他大学の人と多く交流ができた点 :船内でのパーティー等の催し物が種類も豊富だったし、一つ一つがとても良かった点 :スタッフ等の対応がとても良かった点
7. 海外気分を感じられた二日間:ホスピタリティ:豊富なアクティビティ
8. クルーの高いホスピタリティ:学生同士の交流:ショーやカジノ等日常にない貴重な経験
9. ご飯がおいしかった:・ショーやパフォーマンスが盛りだくさんで豪華だった:ウォータースライダーが楽しかった
10. 従業員の態度が良かった:船の中が快適だった:料理が美味しかった
11. イベント、設備、客室
12. プールなどの施設が非常に多く、またゆっくり過ごしている時間が非常に快適だと感じられたこと。・パーティーなどのイベントが充実しており、どれも非常に面白かったこと。・パーティーや食事時間などにおける大学関係者同士での交流が非常に楽しかったこと。
13. ゼミの先輩や同期と仲良くなることができたこと。船内でも台湾でも学年問わずほとんど一緒にいたので、クルーズに行く前よりも確実に仲良くなることがで

きたと思う。：普段の旅行では体験できないことができ、新しい旅行の形を知ることができたこと。：外の景色を楽しむことができたこと。自分の家からも海は見えるが、遮るものがなくずっと水平線を眺めていられたのは気持ちよかった。

14. まず一つ目は、毎晩のショーのクオリティ。無料とは思えない演出で、音響も照明も本格的。出演者のダンスや歌も迫力があって、観ているうちに自然と拍手してしまう。二つ目は食事。レストランもビュッフェもどれも美味しくて、毎回「今日は何を食べようかな？」とワクワクする。イタリアンやアジアンなど、国際色豊かなメニューで、まるでグルメツアーのよう。三つ目は船内の施設の豪華さ。ジム、プール、バー、ラウンジなど、あらゆる場所が洗練されていて、どこにいてもリラックスできる空間になっている。特にプロムナードの雰囲気が好きで、夜になるとライトアップされてとてもロマンチック。全体を通して「楽しい」「美味しい」「快適」がそろっていて、大満足の理由になる。

15. クルーズ船の設備の良さ：料理がおいしい：外国人クルーの接客の良さ

16. 船に乗ったことがなく最初は緊張していたが船の中のクルーや他大学の人と交流をたくさんすることができたので良かったです。また、料理や現実にはない空間や環境が整っており快適に過ごすことができました。とてもいい経験になりました。

17. 他大学とも仲良くなれたこと：毎日のダンスパーティーで国籍、年齢関係なくみんなで踊り狂ったこと。：クルーズ船内がもう海外で、スタッフとつなない英語ではあるが積極的な交流を楽しめたこと。

18. たくさんのアクティビティがあり、4 日間では足りないくらいの充実した経験で、来年も参加したいと思った。クルーの人柄がよくたくさん話したり写真を撮ることができた。他大学の人とたくさん交流でき、帰国後も連絡を取り合う友人を作ることができたこと。

19. クルーズ船のスライダー：ビッフェ：ダンスパーティー

20. 今回のスマートクルーズセミナーでは、自分の所属大学以外からも多くの人に参加していた。自分が最年少の代であったことも要因の一つかもしれないが、各大学の人が非常にやさしく話してくださり、ディナー等会話の場が楽しかった。また船内のクルーたちが拙い英語で話そうと理解しようとして下さり、何度でもチャレンジできた点も素晴らしかった。

21. クルーズ船を体験できたこと(アクティビティ、食事、観光など)：多くの人と関わったこと：自分の選択肢や視野が広がったこと

22. 食事の充実度、他大学との交流、アクティビティの豊富さ

23. 寄港地がないため、クルーズに特化した楽しみ方 他大学との交流を行い

やすい参加人数 食事

- 24. ドレスコードができた:他大学の学生と交流ができた:アクティビティにたくさん参加できた
- 25. ビュッフェの広さと営業時間・スタッフのサービスとアクシデント対応・ショーやパーティーなどのイベント
- 26. 「退屈にならない」「自由に過ごせる」「貴重な体験」

申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ

- 1. 乗船経験あり
- 2. これまでずっと、クルーズに参加したことのある友人からクルーズがとても楽しいこと、寄港地での写真、カジノでの失敗談などたくさん教えてもらっていた。フォーマルな服装での食事からカジノ、パーティーへの参加まで、非日常が味わえるとても有意義な旅というイメージを持っている。
- 3. 乗船経験あり
- 4. 乗船経験あり
- 5. 乗船経験あり
- 6. 乗船経験あり
- 7. 乗船経験あり
- 8. 乗船経験あり
- 9. 乗船経験あり
- 10. 乗船経験あり
- 11. 移動の手段というイメージでありバスや航空機のようなものだと思っている。寝たり食事をすることが中心で時間を持て余しそうだと思う。それゆえ読書やダウンロードした音楽や映画を見て過ごすことが中心になるのではないかと想定している。また船内や船の装飾など、潮風や海水によって腐食していたり、多湿な環境になっているのではないかとと思っている。
- 12. 普段の生活ではほとんど体験することのできないような体験をたくさんすることができ。非常に豪華な内装で優雅な旅をすることができる。一方でクルーズにはかなりまとまった休みがないと乗れず、そうした休みは定年退職後などでないととるのが厳しいのではと思う。そのために私のような大学生にはあまり縁がないものであるように思われる。
- 13. 退職後の方など、比較的年齢層が高く、時間的にも金銭的にも余裕のある人がかなり長期に渡って旅行に行く際にクルーズを使うイメージを持っている。また、船旅で世界一周、といった旨のポスターを街中やお店で見たことが何度かあっ

たこともあり、クルーズでは長距離移動の方が多いのだと思う。

14. クルーズと聞いて最初に思い浮かべるのは「年配の人がのんびり旅するもの」というイメージ。正直、自分が乗る機会なんて一生ないかもしれないと思っているし、友達と行くようなものではないという先入観がある。また、「退屈じゃないの?」という不安もある。広い海の上で何日も過ごすって、閉鎖的だし、やることが限られていそうで飽きてしまうんじゃないかと感じる。豪華な船に乗るという点にはちょっと憧れもあるけど、それよりも「自分に合うのか?」という気持ちが強い。あと、服装やマナーも厳しそうで、なんとなく気を張らなきゃいけないイメージもある。でも同時に、「一度は体験してみたい」という好奇心もあって、申し込むかどうかすごく悩んでしまう。
15. クルーズ船についてはよく知らないため、飛行機で目的地に向かえばいいのではないかと疑問に思う。また、どこか特別な人が楽しむ贅沢な旅行手段というイメージを持っている。船の中で何日も過ごすことに不安も感じており、揺れや閉塞感があるのではないかと想像する。
16. クルーズと聞くと、豪華で手の届かない特別な旅行というイメージがある。広い海の上で毎日ドレスアップしながら高級な食事を楽しむような、非日常の世界だと思っていた。料金も高そうで、年配の富裕層が行くものという先入観がある。
17. クルーズ船内で 3 泊も宿泊するのはしんどそうだと感じる。これまでは、船を単なる移動手段としか思っておらず、また利用したことがないので豪華客船というものがどれほどすごいものであるかは想像すらできない。ただ、私は海外にずっと行きたいと思っており、ただ海外にいくいい機会であるので未知ではあるが乗ってみたいと感じる。
18. クルーズはお金持ちが日常から離れるためのものだと考えている。若者にとっては少しつまらない退屈なものだと考えている。食事や景色は陸ではあじわえないものが多いと思う。
19. クルーズのイメージは豪華でお金持ちのみが参加する権利を持ち合わせているのだと思う映画や漫画のイメージが強く、タイタニックや名探偵コナンなどの事件性が絡むきっかけの舞台になっているイメージだ。正直なところ大学生にとっては無関係な事物であり、ましては地方の大学生が乗船できるとは思わない。
20. 非常に高価なものでありふれた大学生には縁がないものである。また、同時にクルーズといえば“タイタニック号”のイメージが非常に強い。ただし、昨年度の段階で現在 3 年生の先輩方より、したことを聞いていたため、自分がなんの知識も持ち合わせずに申し込んだわけではないが、その話を聞き、参加してみたい

と思っている。

21. 乗船経験あり
22. 華やかで豪華なイメージである。料理はコース料理で、夜にはパーティが開かれるといったイメージである。クルーズ船での旅行はしたことがなく、比較的富裕層が利用するイメージを持っている。もしくは一番最初に思い浮かんだのはタイタニック号で、階によって収入層が異なるイメージだ。また、クルーズは数か月や一年などかなり長期での旅行となるのが思い浮かぶ。
23. 乗船経験あり
24. 乗船経験あり
25. クルーズに乗る前は乗船経験も 1 度しかなく、海外映画からの知識しか無いため沈没するんじゃないかという不安と、経済的な余裕のある人しか行けないという考えがある。それと同時にナイトパーティーの様子やカジノの情報を知り楽しそうだなとも思う。
26. 僕は、船の大きさ、速さ、揺れ具合など何も知らない。クルーズに対していいイメージはない。沈没したら怖いし、船酔いしそうだから。それに加えて、クルーズに乗る 1 週間前くらいにタイタニックを見てしまうという、あほなことをしてしまった。

クルーズの概要を知ったときの感想および参加を決定した理由

1. 乗船経験あり
2. 今回のクルーズ旅行は寄港地が台湾の 1 つであり、今まで友人が体験してきたクルーズと異なる点で楽しみ方もどのように変わるのか少し不安がある。しかし、寄港地以外にも船内のアクティビティやイベントも積極的に楽しめる機会だと思う。ベリッシマはウォータースライダーやアスレチックなど、船内の施設も充実していることから、さらに楽しみである。
3. 乗船経験あり
4. 乗船経験あり
5. 乗船経験あり
6. 乗船経験あり
7. 乗船経験あり
8. 乗船経験あり
9. 乗船経験あり
10. 乗船経験あり
11. 船内の装飾が壮麗であり、また多くの飲食店やショップ、アクティビティが存在

していることを知り、感動する。クルーズというものが移動の手段から、旅の目的の一つへとイメージが変容する。目的地までの移動中も退屈せずに過ごすことができ、素晴らしい環境の中で海を眺めながら羽を伸ばせるのではないかと期待し、参加を決定する。

12. クルーズが思っていた以上に本格的なもので非常に驚いている。設備も非常に豊かであることがわかり期待感が大きく高まる。周りのゼミ生の大半が参加すると言っており非常に楽しい思い出が作れそうだと感じたこと、私自身前々からクルーズに非常に関心があったことが参加を決定づけた主な理由である。
13. 今回のクルーズの概要を知ったときは、思ったより船内でのスケジュールが決まっているのだなという印象を受けた。また、参加を決定した1番の理由は先輩方に同期とも仲良くなれるから絶対に行った方がいいと言われたことである。もともと行かないつもりはあまりなかったが、試験と被っていたこともあり少しだけ悩んだものの先輩の一言が後押しになった。
14. パンフレットや説明を通してクルーズの内容を知ったとき、「こんなに若者向けのイベントがあるんだ!」と驚く。プレゼン大会、スポーツ交流、国際交流といったプログラムが用意されていて、「これは楽しそうだし、自分にもできそう」と感じる。単なる旅行ではなく、いろんな人と出会って話せるチャンスがあるのも魅力的。普通の海外旅行とは違って、移動中もエンタメや食事が充実しているから、時間が無駄にならないのも良いポイントだと思う。あと、グループで申し込める安心感もあって、「みんなで非日常を楽しもう」という気持ちが高まる。概要を知ったことで、「クルーズ=退屈」というイメージが大きく変わり、「これは新しい経験になる」という期待に変わる。
15. クルーズは非日常的な体験ができる点に魅力を感じる。調べていくうちに、船内には多くの施設やアクティビティがあり、思っていたよりも自由度が高く、誰でも楽しめる旅行形態であるという印象に変わりつつある。
16. クルーズの概要を知ると、意外にも手ごろな価格で多くのサービスが含まれていることに驚いている。移動しながら観光や食事を楽しめる点に魅力を感じ、リラックスと冒険の両方を期待して参加を決めた。
17. HPを見てクルーズの中にウォータースライダー付きのプールがあったり、カジノがあったりと未知な体験が多く広がっておりわくわくした。ドレスコードなどもこのクルーズアカデミーに参加しなければ大学生では味わうことができない豪華で非日常的な経験であることからより参加したい欲が向上している。
18. 最初はクルーズと聞いてあまり楽しそうなイメージはなかったが、写真を見ると

ボウリング場やウォータースライダーなどの施設があり、思っていた以上に楽しめるのではないかと感じている。また、先輩から「すごく楽しいから絶対に参加したほうがいい」と勧められたこともあり、少し迷っていた気持ちに背中を押されて参加を決めた。

19. クルーズの概要を知った時に大学生ができる範疇を超えていると感じて、とても魅力的だなと感じた。何も知らないほうが、実際に乗船したときにより楽しめるだろうと思い、クルーズに対する固定観念はあまり情報を入れないようにしている。参加を決定したきっかけは、ゼミの先輩達に強く説得されたからである。
20. クルーズ船の概要を知り、その豪華さから非常に浮世離れした印象を受けるとともに、今まで経験したことがないほど設備が充実していたために、「本当に船なのか？」という疑問が生じている。参加理由に関しては、もともと昨年度参加した先輩からの話を聞いていた点と、人生初の海外渡航には比較的日本から近い国に行ってみたかったため、参加を決定した。
21. 乗船経験あり
22. 自分の漠然としたイメージ通り、とても豪華な船でとてもワクワクする気持ちである。特にウォータースライダーの写真に圧倒され、ぜひ行ってみたいと思っている。参加を決めた理由は、他大学の方と交流できる機会はなかなかないため、ぜひお会いしてみたいと思ったからである。
23. 乗船経験あり
24. 乗船経験あり
25. クルーズ内での催して日本のクラブのような雰囲気のダンスパーティーがあると知り、自由な場所だと感じている。いろいろな人と関わる事が出来る良い機会だと思い参加を決意した。もう 1 つの決め手として、合法的にカジノが出来るというのも挙げられる。
26. 3～4日間海の上で過ごすことで、他大学の学生、外国の方、クルーズに乗っているすべての人たちとコミュニケーションが取れると思う。そして、非日常的な体験がしたくて乗ることを決意した。その他にも、海外には行ってみたい、在学中に何か思い出を作らなきゃと思ったのも一つの理由。

申し込み後、乗船日前夜に考えたこと

1. もう4回目なので、特に何も思わない。強いて言えば、カジノで勝つことを考えている。行きのバスではカジノのプレー方法やマナーの動画を確認して、カジノの立ち振る舞いを覚えたり、勝ち方を考えたりしている。絶対にプラスで帰ってくる

ように頑張る。

2. 初めてのクルーズ旅行かつ、同部屋が他大学の方ということもあり、不安も大きい。寄港地も台湾のみであり、船酔いをして3日間ずっと体調が悪かったらどうしよう、初めてのアジアで食事があわなかったらどうしようなど、考えても仕方のない悩みがいっぱいある。一方で、初めての体験がたくさん待ち受けていることへの期待も大きい。
3. これまでに乗ったクルーズ船と何が違うのか、また今回はどのような人と交流できるのかなどが楽しみだ。
4. 今回はクルーズ乗船4回目、毎回もう慣れたかなと思いつつ、毎回違うメンバーで違った面白い出来事が起こるので今回も楽しみで仕方ない。
5. ベリッシマに乗船経験のある先輩から規模が大きく、サービスも充実としていると聞いているため、食事やダンスパーティーなどのイベントの規模の大きさなどを期待している。また、前回乗船した際より船内にいる時間が長いので、船でプールやジムなどの施設やダンスパーティーなどのイベントを十分に楽しめるだろうと期待している。
6. 前回乗った船とは違った船であるため、何が違うのか、どう違うのか、この船だからこぞできることは何なのか、逆にできないことは何なのかということを考えている。また、事前にフロアマップ等をいただいているので、当日どこへ行きたいかや何が気になるか等も考えている。
7. 今回の旅ではカジノで稼いでやろう。船内の飲食代ぐらいは確保できたらいいな。前回のコスタ号よりも豪華な船だと聞いているから、二日ある終日航海の時間を生かして船内を隅から隅まで探索したい。プールも入れなかったから、今回は水着持っていこう。
8. 今回は2回目の参加であったが、前回乗った船と違う船であるという事や、この旅行がゼミ内外における交流の場としても重要であると考えている事もあり、参加するかどうかについて迷うことはあまりない。しかし、費用が前回のコスタセレナの時のより高いため、値段に見合った差があるのか気になっている。
9. 瀬戸内海といった穏やかなルートではなく太平洋を通るルートなため、船の揺れや天候などが不安である。先輩方から、初めて乗ったコスタよりも規模が大きく豪華なクルーズ船であるという評判を聞いたり、一昨年のクルーズの写真を見たりしているため、船内のレイアウトやバルコニー付きの部屋を見るのがとても楽しみである。
10. 今回のクルーズは、前回乗ったコスタセレナよりもさらに大きな船なので、どんな設備や体験ができるのかとても楽しみである。去年のクルーズと違って、今回

は途中で下船する機会がないので、船の中だけで 3 日間過ごせるか少し不安もある。

11. シャンプーや髭剃りといったアメニティ、タオルの交換があるかなどの情報がなく、初めてのクルーズであるため勝手がわからず不安である。ランドリーサービスについて詳細がわからず、衣服の用意や荷造りの際に非常に悩む。しかし事前資料などで船内の魅力的な施設やアクティビティについて知ることができたので船内での生活について期待感も膨らむ。
12. どのような思い出ができるのか、食事はどのようなものが提供されるのか、流れゆく景色はどのようなものなのかなど多くの点において期待感が大きく、不安要素はほとんどない。不安要素があるとすればお金が最終的にどれほど消費されてしまうのかに関してである。
13. 申し込み後の不安で 1 番大きいのは持ち物についてである。今までクルーズに乗ったことはなく、家族もクルーズに乗った経験はなかったので先輩に聞いたりネットで調べたりして持ち物を用意するのが少し手間がかかっている。
14. 申し込みが完了すると、だんだん実感がわいてくる。「どんな人と出会えるのかな?」「外国の乗客と話せるかな?」と楽しみが膨らんでいく。一方で、「荷物の準備は大丈夫?」「船酔いしたらどうしよう…」という小さな不安も出てくる。前夜になると、荷造りの最終チェックをしながら「いよいよ明日出発か」とワクワクして寝つけなくなる。初めてのクルーズだから、うまくやれるか不安もあるけど、それ以上に「何か特別なことが起こるかも」という期待が勝っている。友達とも「海の上で何する?」みたいな話で盛り上がっていて、遠足前の小学生みたいな気分になる。心の準備はできてないけど、もう引き返せないから楽しむしかない、という気持ちで出発を迎える。
15. 初めてのクルーズということもあり、非日常の旅への期待が大きく膨らんでいる。また、船内にはどんな設備が揃っているのか。一方で、船酔いや荷物の準備、乗船時の手続きなどに対する不安も少なからずある。
16. 申し込みを終え、非日常の旅がもうすぐ始まるという期待で胸が高鳴っている。一方で、船酔いしないか、荷物の準備はこれで十分かといった不安もよぎる。乗船日前夜には、どんな景色や出会いが待っているのかを想像しながら、少し緊張しつつもワクワクして眠りにつく。
17. ドレスコードを意識しなければならないのは初であるので最も悩んだのは服選択である。スマートカジュアルなどがそもそどのような服装か無知であるので難しい。乗船日前夜、ワクワクしている。東京に前乗りしているが、準備が間に合わずに、今日、東京で調達したところで、準備に追われている。

18. わくわくがとまらない。友人と東京に前日入りし、船の中でしたいことなど期待が膨らむ話をしている。自分の英語が伝わるのか不安だ。初めての海外なので本当に生きて帰ることができるのかという不安もある。料理の写真がおいしそうだったので食事も期待している。
19. 申し込んだ後、ほかの大学の人と交流することに対して若干仲良くできるのか不安になっている。乗船前夜は、東京に久しぶりに来たこともあり、有頂天気味だ。東京は電車の乗り換えが全くわからないので、しっかり事前に調べておこう。
20. いよいよクルーズ船での船旅、ということで期待に胸を膨らませつつも、初めての体験に漠然とした不安も感じる。チェックインに遅れてしまわないか、非常に大きい船であるものの、船酔いせずに海上で快適に過ごせるだろうか、といった非日常への高揚感と、わずかな緊張が入り混じる。
21. 前回のクルーズがとても印象的だったので、今回は「またあの非日常の空間に浸れるのか」とワクワクしている。一方で、前回と同じように楽しめるのか、少し不安もある。新しい寄港地や乗組員の雰囲気はどんな感じか、想像が膨らんでいる。
22. あっという間に乗船前夜となり、普段船に乗ることがないため、忘れ物がないか心配になったり、船酔いしないか不安になっている。特にインターネットが繋がらないことは先輩から聞いてはいたものの、そのような長い期間インターネットのない環境にいたことがないため、知人や家族に連絡ができないことに不安を感じる。
23. 申し込みをしたときから、久しぶりのクルーズアカデミーということでとても楽しみにしている。プログラムの内容はあらかじめ分かっているので、その点での不安はないが、今回は山口大学の中で自分が最上級生という立場であり、大阪大学の人と相部屋になると聞いて少し緊張している。うまくやっていけるか不安もあるが、それ以上に新しい出会いや学びに対する期待が大きい。
24. 前回乗ったロイヤルカリビアンるときよりアクティビティがあるのか、フォーマルナイトでのドレスコードと船の上のウォータースライダーを体験できることに期待を持っている。他大学の学生と楽しく交流できるのか、台湾に無事に着いて友人と合流できるかが不安だ。
25. クルーズ申し込み直後は期待が大きく早く時よ過ぎろと願っているくらい期待が高まっていたが、日にちが経つにつれて他の大学の人と上手くやれるだろうかという心配や、日本人スタッフがいらないから英会話オンリーになるという情報などを聞き不安が、今日まで、増えてきている。

26. 船酔いしたらどうしよう、まず羽田までひとりで行けるかな、おなかの調子悪いな、とか不安ばかり考えている。もちろん不安だけでなく期待もある。それは、海の上から見える景色だったり、日本では味わえない体験だったり、ワクワクと期待が混ざったものだ。

乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想

(規模・スケールなど)

1. コスタよりは大きい。ベリッシマに乗るのも2回目なので、特に大きな感情は湧かないが、綺麗ではある。東京クルーズターミナルは大きくて、綺麗である。建物内は広々としていて、スムーズに通ることができた。目の前にすると、全体が見えずに大きさが実感できる。
2. ゆりかもめから遠くに船が見えて、友達に説明してもらうまで建物だと勘違いしていた。目の前に来るとその大きさがさらに分かりやすく、近くで見ても本当に1つのビルが海の上に浮いているように感じる。船の写真を撮るにしても、画角に入りきらない。船の上にあるスライダーが見えて、すごくワクワクする。
3. 今までに乗ったクルーズ船と比べると一番大きく、圧巻だ。また、多くの人に乗るだけあって、乗船時の手続きもスムーズになるように工夫されている。
4. 率直にやはり大きい。巨大マンションが洋上に浮いているようで壮大な景色で、2年前に神戸港で見たあの時の高揚がよみがえる気分。駅から歩いて近づくにつれくっきりと見えるその全貌に感動。
5. 前回乗船したコスタセレーナよりも圧倒的に大きい船体に驚きだ。また、大きなスライダーがあることは聞いていたが、船の外からスライダーが見えて船でのアクティビティが充実していそう。また、外から見える客室の多さにも驚かされる。そして、そのような数の客室が満室と聞いている。今回のクルーズの人気の高さを実感している。
6. 前回のものより大きいなというのが率直な感想だ。また、全室にバルコニーがついているという情報も聞いていたため、岸壁で眺めた際に全客室にバルコニーがついているのが確認でき、客室に対する期待度がさらにあがったというものもある。
7. 共に駅から船に向かっている。クルーズターミナルと船が重なって見える。今回の船ってあんなガラス張りなんや!!あれクルーズターミナルやん。
8. ゆりかもめの最寄り駅から徒歩で向かう途中に、船が見えている。周りにさえぎる建物が無おこともあり、まるで壁がそびえ立っているような印象だ。前回博多港から乗船したときは、ターミナルに入る前に船を見渡すスポットはなかったので、今

回の光景には圧倒される。

9. 聞いていた前評判通り、前回乗船したコスタよりも船体が大きく驚きだ。迫力があり、乗船準備や写真撮影をする外国人観光客もたくさんいて活気を感じる。ただ、ゆりかもめの駅から乗船場まで距離が遠く、大荷物を運ぶには大変な道のりだ。
10. 岸壁に着いて目の前にクルーズ船が現れた瞬間、その圧倒的な大きさに驚いている。これまでも乗船したことはあるけれど、やっぱり目の前で見ると改めてそのスケールの大きさに感動する。今回は 1 人で向かっているので、感動を誰かと共有することはできないが、その代わりに思い出を残そうとたくさん自撮りをするぞ！
11. 東京国際クルーズターミナルよりもはるかに大きいクルーズ客船に驚愕している。ダイバーシティ東京プラザあたりから客船のシルエットが見え、大型ショッピングモールのような巨大な建造物であるかのように感じる。岸壁から眺めた際は全貌が見えず、船の美しさも相まってホテルであるかのように感じる。
12. 船のサイズがそれまでに乗ったことのあるあらゆる船と比べて段違いに大きく、これが船だと知らなければ地上に建っている普通の大きな建物と勘違いしそうであるように思われる。そして中が実際にどのようなになっているのかを自分の目で実物を早く見てみたいという気持ちがどんどん高まり非常にわくわくする。
13. 想像していたよりも圧倒的に大きい。東京港のターミナルと比べても、比べ物にならないくらいの規模感だ。ビルが動いているような感じなので、ほとんど揺れなさそう。また、船の外側に救命ボートがたくさん付いているのが見える、これだけで足りるのだろうかという疑問に思っている。
14. 港に到着して初めて MSC ベリッシマを目にしている、「これが本当に船なの？」って疑うほどの大きさにびっくり！ビルのような高さや長さに圧倒され、思わず立ち止まって見上げてしまう。テレビやパンフレットで見ていた以上に実物は迫力があり、写真を何枚も撮りたくなる。船の外観は白くて光沢があり、いかにも豪華客船という雰囲気が漂っている。周りにいる友達もみんな「すごいね」「本当にこれに乗るの？」と興奮している。まるで映画のワンシーンに入り込んだような気分で、自分がこれからこの巨大な船で数日間過ごすことにワクワクが止まらない。これまで経験したどの旅行よりもスケールが大きくて、これから始まる旅がどれほど特別なものになるのか想像するだけで胸が高鳴る。
15. 実際にクルーズ船が視界に入り、その大きさと迫力に圧倒されている。まるで建物のようなスケールであり、海に浮かぶ移動式リゾートといった印象だ。多くの窓やデッキがあり、見た目からも快適そうな雰囲気が伝わってくる。
16. 岸壁に着いて目の前にクルーズ客船が現れた瞬間、そのあまりの大きさに圧倒さ

れている。まるでビルが横たわっているような迫力で、自分がこれからこの巨大な船で旅をするのだと思うと信じられない気持ちだ。写真で見ていた以上のスケール感に、期待と興奮が一気に高まっている。

17. 想像の何倍もの大きさであり、このような規模感のクルーズ船を見たのは初めてなので衝撃を受けているが、このような巨大なクルーズ船に乗れることにわくわくしている。船内に乗り込む際に、他のお客さんがずらりと並んでいたが日本人がほとんどおらず、スタッフ含めてほぼ外国人であったので、船内からほぼ海外のような気持ちだ。
18. ゆりかもめの中からも見えるほどの大きさに圧巻。近づくにつれ思っていた数倍大きく本当に動くのか疑問に思う。この船に乗ることができるという期待が膨らむ。クルーズターミナルの後ろにあるのにクルーズターミナルがかすんで見えるほど大きい。
19. でかすぎ！今からこれに乗船するの！？と率直に感じる。実はクルーズに乗船する前に東京に前泊して観光をしていたのだが、そのときにも東京は建物が高いなという田舎者の感想を抱いていたのだが、このクルーズの全貌を見た瞬間、あまりのスケールの大きさに私は東京で感じた衝撃のハードルをかなり超えられている。大きすぎて迷子になったらどうしよう！
20. MSC ベリッシマが視界に入った瞬間、遠距離からであるが、その圧倒的な巨体に言葉を失っている。まるで海に浮かぶ一つのビルのような壮麗な存在感と、洗練された船体の美しさにただただ息をのむばかりであり、これから始まる船旅への期待が高まりつつも、一人で乗船に向かっているため、漠然とした不安もある。
21. やはり間近で見ると、その大きさには毎回圧倒される。2 度目でも「これが海に浮かんで動くのか」と信じられない気持ちだ。岸壁から見上げるその姿は、まるで海のホテルというよりも、もはや動く街のようで、旅が始まる高揚感を強く感じる。
22. 想像以上に迫力のある大きさで、きれいな見た目だ。こんなに大きな船はどのくらいの重さなんだろう、何人くらい乗船するのか、あの横についている救命ボートに全員乗れるんだろうか、と考える。地上でいうと三階くらいの高さの階と通路がつながっているの、意外と高い位置から乗船するんだな。
23. 岸壁に立ってクルーズ客船を目の前にすると、その大きさと存在感に圧倒される。クルーズ船には、何度か乗ったことはあるが、やはり実際に目の前で見ると「こんなに大きかったっけ？」と毎回驚かされる。まるで動くビルのように、「ここで数日間過ごすんだ」と思うと、わくわくと非日常感が一気に高まる。船に乗る前から、もう旅が始まっている感じがする！
24. やっぱりクルーズ船は大きいと感じる。遠くからでもウォータースライダーが見え

てわくわくする。出国審査が終わって乗船するとき目の前で船を見て、すべてが視界に入りきれないくらい船が大きく、これからこれに乗れるんだという期待を持ち、楽しみが高まっている。

25. 遠くで手を振っている人達にたいして、誰かも分からん人達のためにこんな一生懸命見送りしてくれるなんていい人達だなあ！日本を出る寂しさよりもやっと日本から出れるという気持ちの方が大きい。

26. 最初クルーズを目にしたとき大きすぎてびっくりしている。例えるならエスコンフィールド北海道ぐらい。僕にはそのくらいの大きさに見える。あと、台湾人が多くて、飛行機で帰らずにクルーズで楽しみたい人が多いんだなと感じる。台湾の方々に飛行機に乗らず、クルーズで帰る理由も聞いてみたいと感じている。

乗船直後の感想

(自分のイメージしていた内容と比較した「船内の様子」)

1. プロムナードとスワロフスキーの階段が圧巻である。とても綺麗で、天井も高く、日頃見ない景色である。客室はバルコニー付きということもあり、とても広い。船員さんは皆さんテンションが高く、非日常の空間に来たと思う。
2. 船内に入った瞬間に大音量の音楽に驚く。また、天井が液晶画面になっていて、天井の模様に移り変わっている。船のクルーの方も、乗船した瞬間からハイテンションかつとてもフレンドリーに話しかけてくれる。船内もクルーの方もホテルのような落ち着いたイメージを持っていたので、どちらかというとアミューズメント施設のような雰囲気にテンションがあがる。
3. かなり豪華なクルーズ船だと聞いていたので期待していたが、その期待を裏切らない豪華さだ。また、船員の方も陽気さはどこのクルーズ船も似ていると感じる。
4. 乗船経験もあるのである程度は想像できていたがやはり豪華で圧倒される。宿泊部屋に関して詳しい情報は確認しておらず、しかも今回バルコニー付きの部屋ということもあり、絵などが飾られソファまで配置されており、大学生には贅沢すぎる部屋に感動している。
5. 乗船直後に感じていることは2点ある。まず、乗船した際に見えたスワロフスキーの階段に代表される内装の豪華さが想像以上だ！天井には大きなディスプレイも設置されていて驚いている。また、乗船していた人の数の多さにも圧倒される。満室の客船がどのようなものか想像できていないが、レセプションデスクに行くと人が多くいる。
6. 乗船直後はやはり想像と違う点が多い。内装の豪華さやスタッフの対応の良さ、または乗船客の国籍の比率等、当初想像していたものと乖離するものもあった。

乖離していたといっても、良い意味での乖離なので、安心できる。

7. 前回のコスタ号は入ってすぐが従業員スペースみたいになっていたが、今回は乗船してすぐ豪華絢爛なホールが現れて感動している。レストランの様子や店員の様子は前回から相変わらずすばらしい！前回よりも乗船人数が多いから、スタッフの数も多いな！
8. 乗船するとすぐに吹き抜けのホールにたどり着くというつくりになっているのが印象的だ。船内の地図や構成を全く把握していない中で、キラキラと光るホールを見て、クルーズ船の中に来たんだという実感が芽生えている。
9. 今回は満船なので、どこに行っても乗客が沢山いて、前回よりも活気と勢いを感じる。乗船手続きは想像よりも待ち時間が短くスムーズに乗船できたのが良い。乗船から避難訓練まで時間があるので、ランチをとったり船内を見て回って今後の予定を決定するのに丁度良い！
10. 乗船してすぐに目に飛び込んできたのは、大きなクジラが泳いでいるように見えるリアルな天井で、その迫力に圧倒される。洋上最長といわれるLEDドーム屋内プロムナードの天井全体が、480 平方メートルの巨大な LED スクリーンで覆われていて、まるでテーマパークに来たかのような華やかだ。船員さんたちもとても親切で、笑顔で案内してくれるので、最初から安心感とワクワク感に包まれている。
11. パブリックスペースは事前資料で見ていた以上に豪華絢爛であったが、想像していたよりも混雑しており、驚いている。高級ホテルのようなイメージを抱いていたが、船員さんはフレンドリーで気さくに対応していただいている。特に清掃のスタッフさんはいつも明るくにこやかに挨拶してくれる。
12. 乗船後すぐに通った吹き抜け部分やプロムナードは乗船前に思っていた以上に綺麗だと感じる。特にスワロフスキーの階段は圧巻の一言に尽きる。また乗船後すぐに屋上プールにも向かったが、こちらも予想以上に綺麗である。船員さんは荷物整理などで忙しそうではあるものの声は時折かけてくださり、こちらの気分は良くなる！
13. 外観のとおり船内はとても広く、慣れるまではずっと迷子になりそうだ。クルーズアカデミーの集合場所となっているレストランに行くのも、地図を見て行っても道に迷う。東京港のターミナルビルにいる間はまだ日本という感じがしたが、乗船すると途端に外国人のクルーがたくさんいて、日本ではない海外に来たのだという感触が強くなっている。
14. タラップを上っていよいよ船に足を踏み入れると、まず最初に感じるのは「中もすごい…！」という驚き。ロビーに入った瞬間、キラキラのシャンデリアや大理石風の

床が目に入り、まるで高級ホテルのエントランスに来たかのような感覚になる。空間が広くて天井が高く、開放感があって圧迫感がない。スタッフは笑顔で迎えてくれて、外国人クルーとのやりとりも新鮮。案内に従ってキャビンまで進む間にも、レストランやプール、バーなどいろんな施設が見えて「本当に全部船の中なの？」って思ってしまう。船員の対応は丁寧でわかりやすく、安心感がある。乗る前に思っていた「クルーズって大人っぽくて静かな感じ」という印象はすぐに覆され、「ここは楽しむ場所なんだ」と確信する。

15. 事前に想像していた以上に船内は広々としており、施設も整っていて驚いている。パブリックスペースでは乗客が自由に過ごせる空間が確保されており、スタッフの対応も丁寧であり、拙い英語でもしっかりと聞いていただける安心感がある。快適で清潔な印象だ。
16. 乗船してすぐに感じるのは、まるで高級ホテルに足を踏み入れたかのような華やかさと清潔感だ。事前のイメージでは少し堅苦しい雰囲気想像していたが、実際は開放的でリラックスできる空間が広がっている。船員さんも笑顔でフレンドリーに対応してくれ、温かい雰囲気に一気に緊張がほぐれている。
17. 船内に入った瞬間から、クルーズ船内ではないようなゴージャスな景色が広がり未知の体験ばかりだ。ショッピングモールのように店が左右にずらりと並び、船員の方も非常にフレンドリーに話しかけてくれるので日本にいるのに海外のような感じがする。
18. 船に乗るための通路で出会ったクルーの方が大きな声で welcome! と言って異国を感じる。船に乗って最初に見えたのは鏡のようなキラキラした階段で開いた口がふさがらない。その後、レストランに向かっているが、飾ってあるワインの数々に圧巻だ。
19. スタッフの人たちのテンションが日本とは全然違うなと感じる。日本だと丁寧な接客でなるべく自我を出さないように心がけているイメージだが、このクルーズのスタッフはノリが非常に明るい。かなりラフな感じで異文化を味わっているなと感じる。スタッフの人も乗船客と会話することを楽しんでいる様子でこちらも普段の自分とは違うテンションになれる。
20. 乗船すると船内の様子は想像以上で、プロムナード天井にあるドーム状のモニターが非常に華やかで、細部まで様々な装飾が施されており、クルー達はみな話しかけやすい雰囲気があり、船内に自分で荷物を持ち込んでいた人も自分の部屋に行く前に船内を探検している様子だ。
21. 船内に入った瞬間、やっぱり特別な空間に来たんだと感じる。前回の記憶がよみがえると同時に、内装や香り、船員さんの丁寧な対応があり、それが多くの人を

「また来たくさせる要因」だと実感する。細部まで清潔感があり、今回も安心して過ごせそうだと感じる。

22.自分が思っていたよりも日本人がいない。船内のお客さんも日本人以外の方が多し、クルーも日本語が通じない（挨拶程度ならしてくださる）ため、無事に過ごせるか若干の心配を持つ。さまざまな国の方がいるため、船内にごみが散乱したりしないだろうと思うが、毎日こまめにクルーの方が廊下を掃除していて、とても清潔な環境である。

23.乗船してすぐに阪大の人たちと会えて、少し緊張していた気持ちが和らぎ安心感がある。パブリックスペースは広くて落ち着いた雰囲気、以前と変わらず快適だ。スタッフも例年通り親切で、ヨーロッパ系やアジア系の方が多く、英語での対応もスムーズなので安心して過ごせそうだ。

24.天井がスクリーンになっていて、乗船した瞬間別世界に踏み入れたような感覚になる。船員さんはフレンドリーで優しくて、拙い英語でも聞き取ろうとしてくれる。乗船した直後入り口近くにドリンクサービスの宣伝などのスタッフがたくさんいて、話しかけられて圧倒される。

25.乗船した瞬間、ギラギラした光が目に入ってきて改めて日本とは違うんだと身体に叩き込まれる。こんなに明るいと思っていなかったため、サングラス必須とはこの事かと思う。テンションが上がり、もうその場で何か買ってしまおうかとも舞い上がってしまう。

26.僕が思っていたよりも広くて、豪華で、キラキラしていた。こんなホテルのような感じなんだ！クルーの方々はとても話しやすく、笑顔が素敵だ。シーランカという人と友達になって、僕が通りかかる度に話しかけてくれる。みんながウェルカムで居心地がよかった。

避難訓練、安全対策への感想

1. 避難訓練は特に全体でレクチャーなどがあったわけではなく、集まった人からカードを読み取っただけなので、本当にあれでいいのかとは感じた。部屋で見るビデオはあったが、他の船ではしっかりと方法等レクチャーがあったものもあったので、その点では劣る。
2. 避難訓練が実施されることは乗船して初めて知った。参加しないと船内カードが使えなくなるなど、参加促進への徹底ぶりから、船上で何かあったときがいかにも大変か想像に固くない。避難訓練は避難場所への移動まで含まれていたのが、安全への配慮という観点からとても安心できる。しかし、避難場所まで行くとカードを確認して帰されて、思ったよりもあっさり終わって驚きである。

3. 船に乗っている多くの人を効率的に移動させる避難訓練の仕方であったと感じた。また、安全ビデオの視聴チェックも徹底して行われていた為、船内の人の安全が第一に考えられていると感じ、安心して乗船することができた。
4. 部屋に入ると安全ビデオが流れている仕組みで、確実に個々が確認できるようになっておりその徹底が伝わった。
5. 避難訓練では少し不安を感じた。前回乗船した際はライフジャケットを実際に装着したが、今回はクルーズカードを確認するだけだった。普段ライフジャケットをつける機会はないと思うので、そのような訓練はあってもいいのではないかと感じた。他方で、避難訓練に関する動画を部屋で見ることができ、かつ日本語で確認することができる点は非常に便利だと感じた。
6. 正直な感想では、あれだけで必要なことがすべてわかるとは到底思えない。5分ほどの短い映像と、ただ歩いて避難導線の確認を自室から確認するだけでは十分であるとは言えないと思う。実際の有事の際に自室にいる確率の方が低いと思う。
7. 本当に何も感じることはありません。
8. 避難訓練は、客室で安全のためのビデオを視聴した後、指定された避難場所実際に移動する、という流れだった。前回のコスタセレーナでは、避難場所であるデッキに集まった後、その場所で注意事項を聞く必要があったので、今回の方が便利で負担が少なかったという印象だった。
9. 避難訓練は船全体で行われており、アナウンスなどを利用して徹底されていたと思うが、偶然避難先の場所にいたため、避難経路等の確認はできなかった。また、現場のクルーからも特に説明はなかったため、いざ緊急事態が起こった際には少し怖いと思うほど形骸化しているように感じた。
10. 今回は部屋で避難動画を見てから指定の場所に集まるだけの簡単な避難訓練だったので、正直ちょっと物足りなく感じた。前回のコスタでは実際に救命胴衣を着けてしっかり訓練したので、それと比べると少し不安だった。とはいえ、これだけ大きくてしっかりした船ならそう簡単に沈むことはないと思うし、安全対策自体はしっかり整っている印象を受ける。
11. 避難訓練はビデオを視聴し、事前に配布されたカードをスキャンするという内容であったが、参加義務が厳密に順守されておらず、ずさんな部分もあったので、有事があるかもしれないことを考えると少し物足りない内容であると思う。船員さんは丁寧に対応してくださっている。
12. 安全ビデオの視聴や避難経路の確認などをしっかりと乗客が行うようにするための制度設計がなされており、しっかりとした避難訓練がなされていると感じた。ま

た船の横に大きな救命ボートの設備があるのも確認でき、安全対策がしっかりと
なされていることをその点においても感じられ安心感が得られた。

13. 全員の参加が必須になっていてサービスが止められたり、避難訓練についての
アナウンスも何度もあったりしたため、救命胴衣の着用が求められるなど、もっと
本格的なものかと思っていたが、意外と簡素ですぐに終わったので少し驚いた。
正直、避難訓練というより少し歩いて階段の上り下りをしただけという印象の方
が強かった。
14. 乗船して間もなく行われる避難訓練は、正直ちょっと面倒だなと思ってしまうけど、
始まってみると必要性をすぐに理解する。大型船だからこそ、万が一の時のため
に全員がルールを共有することの大切さを実感する。訓練では集合場所やライフ
ジャケットの使い方などをしっかり説明され、初めての人でも分かりやすい。スタッ
フが真剣に対応していて、こちらも自然と真面目な気持ちになる。英語と日本語
で案内してくれるので安心できるし、手順もシンプルで覚えやすい。設備も整って
いて、安全に対する意識の高さが伝わってくる。訓練を終える頃には「これなら大
丈夫だ」と思えるようになり、その後のクルーズ生活を安心して過ごせるようにな
る。初日の不安が少し解消される大事な時間になる。
15. 乗船後すぐに行われた避難訓練は分かりやすく、スタッフの指導も的確で安心で
きた。安全対策についての説明も明確であり、初めてのクルーズでも無事に参加
できた。また、船が広かったためルートを間違えてしまうのではないかと不安であ
った。
16. 避難訓練は思っていたよりもスムーズでわかりやすく、安心感を覚えました。乗客
全員が参加し、船員が丁寧に説明してくれる姿勢から、安全への真剣な取り組み
が伝わってくる。万が一の事態にも冷静に行動できそうだと感じました。
17. クルーズの中の構造がまだまったくつかめてない状態での避難訓練であったの
で、構造を把握するという意味でも有効だった。長期間クルーズにのったことがな
いのでもしも何かあったときどう行動すればよいか全然わからなかったので勉強
にもなった。全員参加が必須なので大人数での実際の避難を想定できた。
18. 船上での初イベントであったため少しワクワクしていた。避難訓練の映像を見る
のに手こずって避難訓練に少し遅れた。避難訓練を通して避難経路を確認でき
たので、万が一に備えることができた。クルーの先導も的確で言葉がわからなく
ても動くことができた。
19. 海外のアナウンスを一回聞き逃してしまったため、フロントの方に一回電話をかけ
たが英語でないと伝わらなかったのが少し苦労した。でも英語の学習として実践
的だった。台湾についてからもたくさん英語を使わないといけない場面に遭遇し

たが、船の中でもそれを体験することができて良かった。安全に船を楽しむためにも真面目に取り組むことができて良かった。

- 20.避難訓練は、単なる形式ではなく、真剣で効率的だと感じた。客室におけるビデオ学習とカード点呼によって、乗客が一か所に集中してしまうことを避けつつ、緊急時の行動を徹底しており、船内の案内やクルーの配置も万全で、安全対策の高さに安心感を覚えた。英語・中国語・日本語といった様々な言語での案内によって円滑な行動が促されていた。
- 21.あまりにも緩すぎて、日本と比べ「おっと???」となった。また、客室内のテレビで安全ビデオが流れるとアナウンスがあったが何度試しても映ることが無く、電話しても「そのうち見れるから大丈夫よ～問題ないよ～」みたいに言われ、軽いなあと思った。どこまでも日本基準で比べてますが、避難訓練は海外基準だと特段重要度は高くないのかな?という印象だ。
- 22.避難訓練が始まるからそれまでに部屋でビデオを見ておかなければならないのかと思っていたが、避難訓練予定時刻より一斉に流れる仕様だったのがやや混乱した。ビデオ内での説明はわかりやすく、理解できた。また、致し方ないと思うが、アナウンスで日本語での案内が最後なのも、もし本当に非常事態だったら不安感が募ってしまうだろうなと思った。
- 23.今回の避難訓練は前回よりもスムーズに進み、とても良かったと感じました。映像を活用した形式は、外に出る必要もなく、スタッフの負担も軽減されていて効率的だと思います。必要な情報がしっかり整理されていて理解しやすく、安全への意識もしっかり持つことができました。
- 24.ロイヤルカリビアンのかきの避難訓練は乗船した直後にスタッフからライフジャケットの使い方など対面で説明があったが、今回はほとんど放送と客室のテレビでの確認だけだった。その後避難経路の確認をしたが、対面で説明を受けた方が実際に警報が鳴ったときに行動にうつしやすいと思った。
- 25.避難訓練は正直あんなにダラダラした感じでやっていいのかなと思ったが、それだけ安全が保証されてるんだろうと思い気にしない事にした。避難先に行ってからの説明がほとんど無かったので、これで大丈夫なのかな?という不安は少しあった。
- 26.避難訓練では全く英語がわからず少し戸惑いはしたが、日本語がわかるクルーもいたので助かった。日本でやる避難訓練と比べて、少しレベルが低いような気がした。例えば、訓練中なのにニコニコのクルーがいたり、タバコを吸っている人もいたり。今回だけかもしれないがそういう場面は見受けられた。

クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想

（船内施設・施設のレイアウトなど）

1. "ベリッシマに乗船して最初に目を奪われたのは、華やかなプロムナードとスワロフスキーの階段である。煌びやかに輝く階段はまさに芸術品のようであり、そこに立つだけで特別な場所に来たことを実感させられる。高い天井と美しい照明が空間全体を包み込み、日常では決して味わうことのできない壮麗な光景が広がっていた。"
2. 船内は私の想像の10倍ぐらい大きかったため、何度も迷子になった。特に15～17 デッキが複雑で、何度も階段を上り下りしたり、デッキの端から端まで移動した。船内にアリーナやウォーキングコースがあって、運動不足になりそうなイメージを持っていたが、普段よりも運動してるんじゃないかというぐらい運動していた。
3. 船内は今まで利用した度のクルーズ船よりも広く、驚いた。また、以前乗船した船はプール等のアクティビティがメンテナンス中で利用できないということもあったが、今回はそのようなこともなく快適に利用することができた。
4. ベリッシマの施設で最も好きなのがプロムナードで、天井のパネルが時間によって異なる柄に変わるのが美しかった。満員乗船で前ほどの落ち着き感はなく綺麗な写真が取りづらかったのが残念だった。
5. 船内では施設のバリエーションが充実していると感じた。大人だけでなく、ゲームセンターや遊び場など子どもも楽しめる場所も充実していた印象だった。他方で、運動場が混んでいて十分に遊ぶことができなかった点やボウリングやレースカー体験の料金が高価だった点が気になった。
6. ハード面はとても満足できた。レストランやプール、カジノ、ショールームがあるのはもちろん、ジムや数多くのバー、体育館等があるのに驚いた。ジムでの器具の種類の豊富さにも驚かされた。また、広すぎるが故、自室の位置を探す際に迷子になったこともあったがそれも良い経験であったと思っている。
7. 船内施設はすべてが圧倒的だった。ただ、行きたいところに行くためにすごく遠回りをしてしまうことが多々あり、日本の地下街のように道案内用の掲示があるといいかもなと思った。しかしクルーズ船という非日常の世界観を守るためには設置が必ずしも善だとも言えないかもなと思った。
8. 下層部と上層部に様々な施設が配置されている、という基本的な構成はコスタセレーナと同じであった。子供が遊べるスペースや託児施設が設置されていたことや、温水のジャグジーが多くあったことが印象に残っている。

9. 船内アプリは他の乗客と連絡が取れる手段として便利であった。しかし、連絡先の登録が複雑で、Wifi の不具合が起こることも多かったため、少し改善の余地があるように感じた。また、エレベーターが遠い場所にある客室だったので、もう少し台数があればより便利であった。乗船時に撮影した顔写真がアプリの顔写真として登録され、室内のテレビにも映し出された所が面白くて、家族や友達と盛り上げられるツールであった。船内のスワロフスキーの階段やプロムナードは清潔で綺麗に保たれており、乗船中にテンションが上がった項目の一つであった。
10. 船内はとても綺麗で高級感があり、特にスワロフスキーの階段が美しく印象に残りました。プロムナードは広くて明るく、歩いているだけで楽しい雰囲気でした。施設の配置も分かりやすく、移動がしやすかったです。ただし、部屋が船の一番後ろだったため、エレベーターまで距離があり、移動が少し大変に感じました。
11. 船内施設は美しく維持され、素晴らしいと感じる。少し構造は複雑であるが概してわかりやすく、一度慣れてしまえば迷うようなことは少ないと思う。しかし、エレベーター内にはどのフロアに何の施設があるのかが記載されておらず、乗船後しばらくは困る。
12. 非常に船内が広く最初は迷いそうになったが、徐々に慣れてくると思ったより迷わずに歩けると感じた。屋内プロムナードは非常に綺麗で、周りに様々なお店が連なっているということも相まって、思わず船の中にいるということを忘れそうになることが何度もあった。
13. とにかく鏡が多いという印象を受けた。エレベーターも階段も天井も至るところが鏡になっていて、写真スポットとして活用できたのは良かった。奥行きがあるように見せることで、圧迫感を減らすための仕組みなのかなと思った。また、メインのプロムナードはキッザニアとお台場のヴィーナスフォートを合わせたような雰囲気だなと思った。
14. "船内を探検してまず驚くのは、その広さと多様性。プロムナードは特に印象的で、まるでショッピングモールのような空間が広がっている。天井には LED のスクリーンがあって、時間帯によって映像が変わる演出があり、歩いているだけでも楽しい。カフェやショップ、バーが並んでいて、船にいることを忘れてしまいそうになる。プールやジャグジーも複数あって、それぞれに違った雰囲気があるのも魅力的。夜には照明がいい雰囲気を出してくれて、リゾート気分が高まる。エレベーターも多く、移動はスムーズ。案内板も多くて迷わない工夫がされている。部屋のあるキャビンエリアは静かで落ち着けるし、バルコニーから見る景色は絶景。どの施設も清潔で洗練されていて、快適さが随所に感じられる。"
15. 船内にはシアター、プール、ジム、カジノ、ショッピングエリアなど多くの施設が整

備されており、まさに一つの街のようであった。施設のレイアウトも分かりやすく、初めてでも移動しやすかった。特にプロムナードは開放感があり、くつろげる場所であった。

16. 船内の施設は想像以上に充実しており、小さな街のように感じた。レストランやカフェ、シアター、プール、ジムなどがバランスよく配置されていて、どこにいても飽きることがない。特にプロムナードは開放的で散歩するだけでも楽しく、移動中も景色を眺めながらリラックスできる贅沢な空間だった。
17. 真ん中くらいにきらきらしたらせん階段があるところが写真映えも非常によく好きだった。体育館、屋上プール、室内プール、卓球台やゲームセンター等、たくさんの遊べる施設があり、期間内ではすべてあそびきれないほど充実していた。毎日「今日はどこいく？」的な感じで悩むのもまた楽しかった。
18. まさに豪華絢爛。船内の壁やインテリア、装飾など華やかかつ煌びやかで非現実的な体験をすることができた。レイアウトも日本では味わうことができないものばかりで海外を感じられ楽しかった。運動施設が充実していたため、船内でもたくさん体を動かすことができたのはよかった。
19. あまりの豪華さと広さに圧倒され、まるで海の上にある巨大な街に迷い込んだような感覚でした。プロムナードはまさに船内の目抜き通りのようで、バーやショップが立ち並び、歩いているだけでわくわくした。施設も想像以上に多く、どこから見ても回ればよいのか迷ってしまった。初日はとりあえず探検してみないといけないと感じた。
20. MSC ベリッシマの船内は、まさに「海上を移動する巨大リゾート」で、広大な吹き抜け・煌びやかなギャラリー・プールやウォータースライダー・劇場など、どこも新しく豪華で、飽きることがなく、様々な施設が効率的に配置されるとともに、移動もスムーズに行えるように配慮され、想像以上の充実ぶりに感動した。
21. 2 度目のクルーズであり、前回(コスタセレーナ)とは規模も違えば、内容も違ったし、そもそも記憶があいまいなので実質初乗船である。船内のルートが複雑で多少手間に感じるがあった。
22. どこになにがあるのか最後まで覚えきれなかった。アプリ内で船内マップがあるものの、自分の行きたい場所を検索したり、写真で視覚的にイメージしやすかったりする仕様だともっと良いと思った。客室が偶数と奇数の部屋で列が違うのは慣れず、最初のうちは何度か迷うこともあった。船内は人が多いが、エレベーターの数は多く移動に不便は感じなかった。
23. 船内の施設やレイアウトは昨年とほとんど変わらず、クルーズのスタイルとしてこうなのだろうと感じました。昨年は初めてで少し戸惑った部分もありましたが、今

回は慣れていたこともありスムーズに行動できました。特にアプリを活用することで施設の場所やスケジュールの確認がしやすく、とても便利に感じました。

24. 船内は船の中にアウトレットモールが入ったような外観だが、高級感もあり、非日常を味わせるレイアウトだと思った。カジュアル船でも高級感が味わるので、若者の観点からコスパはいいと感じた。照明にこだわっていて、各施設によって全く雰囲気がちがうのも船を楽しめる要素の1つだった。

25. プールや屋内運動場やジムなど身体を動かせる空間があることがとても嬉しかった。そしてどこも常に綺麗に清掃してあることがクルーズ船のレベルの高さを表していたと思う。塗装が剥がれている箇所もすぐに3人ほど集まって直していたのでスタッフに対しても設備に対してもずっと好感が持てた。

26. 景色よし、プール気持ちよし、気温最高、言うことあまりない。僕の好きなジムもあって、暇が生まれない。ずっとバカンス気分。プールサイドでは寝転ぶスペースがあって、とんでもなく日焼けをした。結局、部屋の冷蔵庫の中に入っているジュース等は飲んでしまった。

"船内サービス(ソフト)の感想

- ①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」,
- ②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」,
- ③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」,
- ④「カジノにおける接客サービスクオリティ・雰囲気について」

1. "①メニューはいろいろあって、味もとても満足できた。しかし、ウェイターが自分のサーブを楽にするために、料理を各種類から1つずつしか注文させてもらえなかったのは残念だった。最終日は先生が交渉してくださり、複数頼めるようになった。②サービスはとても良かったが、前々回乗ったロイヤルカリビアンがとてもよかったので、そこには勝てなかった。③清掃は毎日綺麗にしてくれて、素晴らしかった。一つ言うなら、タオルをもっと高頻度で変えてほしいと思った。昼にシャワーを浴びても変わっていなかったの、夜にまた持ってきてもらうことが多かった。④カジノは必要最低限はあった印象だった。テーブルゲームの数が少ないような気がした。もっと勝たせてほしかった。笑。
2. ①レストランのメニューの構成が驚きだった。コース料理のようで、前菜やメインを食べる食べない、何を食べるという選択ができるのが新しかった。バーでは聞いたことのないドリンクメニューがたくさんあって、どれを選ぶか毎回スタッフの方に相談していた。②レストランのサービスは誕生日のサプライズやスタッフの方の

ステージが印象的だった。レストランのスタッフの方はフレンドリーですごく陽気な方が多かった。その雰囲気も反映された、楽しい雰囲気のサプライズやステージで、私自身もノリノリで楽しむことができた。③清掃はホテルと同様にしてもらうか選択できるし、毎日してもらうことも可能だったのが嬉しかった。清掃員さんもすごくフレンドリーで、廊下で会うたびに挨拶してくれたのが印象的だった。④私自身はカジノでお金をかけずに、友達がかけているのを横で見ている。日本でも賭博をしたことがないので、初めてそのような場所にいった。ディーラーの人がいて重々しい感じをイメージしていたけれど、機械でできる方式もあって敷居の低い娯楽だとわかった。

3. レストラン・カフェ・バーでのメニューについて、イタリアを中心に様々な国のメニューを味わうことができた。行き先が台湾だったということもあり、台湾料理、また和食も選ぶことができた。②レストラン・カフェ・バーでのサービスについて、クルーの方は陽気な方が多く、誕生日の人へのサプライズ等も楽しむことができた。③キャビン清掃、ホテルレセプションについて、毎日綺麗に清掃されており清掃クルーの方も親切に対応してくださったと感じた。
4. "①美味しくてメインを3皿も頼んでしまった。いくらでも頼めるクルーズの魅力を十分に味わえた。②客数も多いのでたまにミス・サーブ忘れもあったが気遣いも十分な良いサービスだった。③清掃はいうまでもなく、細かく完璧に施されていた。④今回も賭けなかったがやはりギャンブルに勝ち目はないと実感した。"
5. ①レストランのメニューは苦手な食材があったとしても他の選択肢が充実していたので満足して食べれた。カフェは行っていない。バーは日本のお酒から海外のお酒まで選択肢が多く、初めて見るお酒もあり、楽しめた。②レストランでのサービスは食事提供の時間配分が曖昧で、待ち時間が多いこともあった。しかし、クルーによる歌唱など、食事以外のエンターテインメントも充実しており、総合的に満足した。バーでは個別の要求に応じてもらうなど、サービスは大変満足した。③キャビン清掃では一度ティッシュペーパーがもらえず、補充するように頼んだが、対応がなされなかった点は不満だったが、他の部分には満足した。④カジノは前回乗船した船よりにぎわっていた点やバーが併設されていた点にも非常に満足した。その場で換金できる点もよかった。
6. ①レストランのメニューについては、種類も豊富で馴染みのあるものからないものまで豊富にそろえられているのがとても良いと思った。バーのメニューに関して同上で、普段飲まないようなものも多く、満足できた。②サービスについても満足のものだった。気さくに話しかけてくれる点や、質問に対して真摯に対応してくれたためとても好印象だった。③清掃についてもとても良かった。非常にきれ

いに清掃していただき、散らかしてしまったものもしっかり整頓してくださっていた。

④今回はそれほどカジノに行かなかったので感想という感想はないが、料金換算がその場ででき、現金化が簡単であったのがとても良かったと感じた。しっかり勝たせていただいた。

7. メニューは日本語でもわかりやすいような表現が使われていた。すべての食事にベジタリアン向けの料理が用意されているところで多様性を感じました。誕生日パーティーをしてくれたり、ひざ掛けをプレゼントしてくれたりサービス精神旺盛だった。清掃やレセプションは完ぺき。ただ時差変更の際にメイドさんが普通に部屋に入って生きてテレビを見始めたのはびっくりした。カジノに関しては、不満点がある。紙たばこが吸えるということである。規則としては禁止なのかもしれないが、吸い殻を灰皿に放置する輩が多く辟易した。
8. ①レストランでの料理はどれもそこまでの癖はなく、おいしいものばかりだった。しかしビュッフェの方は、広さの割に種類が少なく、また日による違いもほとんどなかったのも物足りなく感じた。②クルーの方は皆親切であり、食事の際にも盛り上げてとても良い雰囲気を作っていた。一つ不満を言うならば、食事時の水が有料であったことである。持ち込むか、何かドリンクを注文するかする必要があり、不便であった。③清掃については、部屋を出ている際にベッドメイキングやタオルの交換などを問題なくしてもらった。④台湾の方が中国語でリアクションをしていて、盛り上がっていた。紙たばこを吸いながらプレイしている人もちらほらおり、そこが気になった。
9. バッフェはチーズやピザ、フルーツにスイーツなどメニューバリエーションが豊富で、朝から晩まで OPEN していても飽きることなく楽しむことができた。ただ、満船だったため清掃済みの空席を探すのに苦労したり、長蛇の列にならぶことがあった。有料のサービスはジェラート店を利用したが、少し高くても利用価値があるほどおいしく満足度が高かった。キャビン清掃やホテルレセプションについては通常のホテルのように丁寧な対応で挨拶もフランクに返してもらえたのがうれしかった。カジノについては、自分自身が賭けることはなかったが、他の学生を見るとダイスに熱中しており楽しめる施設となっているように感じた。
10. レストランでは料理の種類がとても豊富で、イタリアンからアジア料理まで飽きることなく楽しめた。味も全体的に美味しく、特にピザとジェラートは印象に残っている。ただ、人が多すぎてビュッフェでは座る場所がなかなか見つからず、10分以上席を探して歩き回るようになったのが大変だった。サービス面ではスタッフの対応は丁寧で、笑顔で接してくれるので気持ちよく食事ができる。キャビン清掃もこまめに入ってくれて快適に過ごせた。

- 11.①それぞれメニューが豊富に用意しており、かつどれもおいしいと思う。②それぞれのサービスに関しても概してよかったと思う。ビュッフェはかなり混雑し、退席した客の食器の片付けが間に合っておらず、さらに混雑する結果となってしまっているように感じたのでそこだけ残念である。③どちらのサービスも素晴らしかった。清掃に関して一度だけ、プール用のタオルが配布されなかったことがあり、少し残念に感じている。④カジノのサービスは素晴らしかったと思う。カジノに併設されているバーのサービスやカジノの雰囲気も良い。
- 12.①普段の食生活ではあまり食べることのないような高級感あるメニューが多く、そして基本的にどれも美味しいと感じた。特にクルーズの最後の夜に食べたパスタが非常に美味しいと感じた。②レストランで食べ物が提供されるまでの時間が長いと感じることが時折あったが、乗船人数の多さを考慮すると仕方がないように思われた。基本的にクルーの方は明るく接してくだされ、こちらとしても気分良く接することができた。③キャビンはとても綺麗に清掃されており、ほとんど気になる点等はなかった。④私は今回カジノをプレイすることはなかったが、周囲の人たちは楽しそうにプレイしている人が多かったように思われた。周囲に数人多くの金額を失ってしまった人がいたので、今後もしカジノをする機会があれば細心の注意を払おうと感じた。
- 13.①夕食のレストランは、フルコースと聞いていたのでかなりボリュームमीなのかと思っていたが、自分で好きなものを頼み量を調整することができたのはとても助かった。②レストランのサービスについて不満はなかったが、強いていうなら一度オーダーを間違えられたことがあり頼んでいないものが届いたことがあった。が、それはそれで美味しかったので特に不満はなかった。③キャビン清掃が行き届いていないと感じることはなかった。廊下でクルーとすれ違ったときも、皆愛想よく挨拶してくれたので嬉しかった。同じような部屋が連続するので、自分の持ち場は当然決まっているのだろうがどの部屋まで清掃したか忘れてしまわないのかなと思った。④私自身は賭けなかったが、人が賭けているのを見るだけでも十分楽しめた。また、カジノに立ち入るのは今回が初めてだったので新鮮だった。
- 14.まずレストランのメニューは、洋食からアジア系まで幅広く、毎回違う料理が出てくるので飽きることがない。コース料理もビュッフェもクオリティが高く、見た目も味も満足できる。特にピザやパスタが美味しくて、イタリア船らしさを感じる。スタッフのサービスも素晴らしく、席に案内されるときも笑顔で丁寧に対応してくれる。注文や要望にもスムーズに応えてくれて、言葉の壁を感じることはほとんどない。カフェやバーでも気軽に過ごせて、コーヒーを飲みながら友達と話す時間が日常の一コマになる。キャビンの清掃も毎日きれいにしてくれていて、タオルやアメニ

ティもきちんと補充される。レセプションは 24 時間対応で、どんな小さな相談にも親身になってくれる。どこにいても“安心感”と“快適さ”を感じられるのが、このクルーズの大きな魅力だと感じる。

15. レストランではメニューが豊富で、味も本格的であった。カフェやバーではスタッフの接客が丁寧で、居心地が良かった。また、弾き語りなどがあり、日本では味わえない雰囲気が漂っていた。キャビンの清掃も行き届いており、毎日清掃に入っただき、タオルやベッドメイキングがしっかりとされており、快適に過ごすことができた。カジノは本格的な設備が整っており、大人の娯楽として楽しめる空間であった。また、カジノにはバーがあり、雰囲気に酔うことができた。
16. レストランやカフェ、バーのメニューは種類が豊富で、和洋中さまざまな料理が楽しめるのが魅力的。特にディナーはコース仕立てで、味も盛り付けも本格的だった。スタッフのサービスも丁寧で、笑顔で気さくに話しかけてくれるため、とても居心地がよい。キャビンの清掃も行き届いており、毎日快適に過ごすことができた。ホテルレセプションも対応が迅速で、困ったことがあってもすぐにサポートしてくれるので安心感がある。カジノは華やかで非日常的な雰囲気があり、初心者でも気軽に楽しめる雰囲気だったのが印象的だった。
17. ①レストランのメニューは普段めったに食べることのないイタリアンなどのコースを十分楽しめ、すべてがおいしかった。コースの中にライスが含まれていたのもポイントが高い。ビュッフェで様々な国の料理を好きなだけ食べれて非常に満足。②レストランでは、お皿が空いたらすぐに船員のかたが片づけに来てくれて、ゆったり食事を楽しむことができた。③部屋をかなり散らかしてしまっていたが、毎日しっかり清掃に入ってくれて、ベットをきれいにしてくださり非常にありがたかった。④カジノを今回のクルーズで初めて体験し、ギャンブルも初めてだったので多少不安があったが、少額のお金でも楽しめ、いい経験ができた。いろんな種類があるのが嬉しい。
18. ①メニューは全体的に高いものが多く普段なら手を出さないものを雰囲気に圧倒され財布が緩んだ。それほど充実していた。②細かいところまで気遣ってくれるクルーの方が多く、大変満足した。③毎日清掃をお願いしていたが、毎回荷物まで片付けてもらっていたのでサービスとして素晴らしいと思った。レセプションのスタッフは基本英語での会話だったが、日本語ができる方もいたので多言語に対応できているのはさすがだと思った。④カジノは少し抵抗があったがルーレットだけはルールもシンプルで初心者の私でも楽しむことができた。
19. レストラン・バーでのメニューはバリエーション豊かで、毎日異なる料理を楽しむ点が魅力的だった。特に洋食やアジア料理（エスニック？）のクオリティが高

く、デザートも本格的で大満足。サービス面ではスタッフの対応が丁寧かつフレンドリーで、英語での注文もスムーズに進められ、居心地の良い空間を過ごせた。キャビン清掃も常に行き届いており、毎日清潔な空間で快適に過ごせた。ホテルレセプションも丁寧かつ迅速で、安心感があった。カジノは初めての体験だったが、ルールをしてくれるスタッフがいて初心者でも楽しめる雰囲気だった。全体的にソフト面のサービスは非常に高水準で、滞在中の満足度を大きく高めてくれた。

20."①レストランのメニューは、英語・中国語・日本語といった様々な言語で表記され、レストランによっては料理の写真も表示されているため、どんなものを食べることができるか、想像しやすかった。②各レストランでは、機械的に仕事をしている、というより自分も相手も楽しむことができるように、という雰囲気を感じた③部屋に戻るたびにタオルが補充され、ベッドもきれいに整えられているのは、非常に快適だった。クルー達が笑顔で挨拶してくださるのも好印象だった。④ カジノに関しては、自分がやらなかったため、他のことに比べてわからない部分が多いものの、快適に賭け事を楽しめるような環境が整えられていた。"

21.①店によって変わるとは思うが、私たちが利用した店に限っていうのであれば、(大学生的な)コスパ・タイパは悪いなと思った。学生からすれば比較的大きな出費で、サービスなどについて期待するが、それを上回ることはなかった。②コーヒーや水を注いでいただけるし、気が利くなと思った。③清掃等については特に言うことがない。一般的なクリーニングサービスと同程度だと感じてある。④一切やっていないので特に記すことはない。

22.レストランはどのレストランでもメニューは同じだが、場所によってなかなかメニューをもらえなかったり、オーダーを聴いてもらえなかったり、対応に差があった。味は非常においしく、量も多すぎないため、多くの料理を楽しめた。ビュッフェはかなり混み合い、目当ての料理が食べられないこともあったので少し残念だった。バーやカフェでは、日本語のメニューも充実しており、何を頼んだらいいか悩まなくて済んだので良かった。キャビン内は荷物をそのまま置いていたりしたが、清掃の際に私物を触った痕跡もなく、配慮されているのを感じた。

23.①レストランやカフェ、バーのメニューについては、特にビュッフェが昨年よりもボリュームがあり、味もおいしくなっていて驚きました。種類も豊富で毎回楽しみがあり、つい食べ過ぎてしまいます。②サービス面でもスタッフの対応が丁寧で、レストランやバーの閉まる時間もちょうどよく、無理なく利用できて快適でした。③キャビン清掃やホテルレセプションも過不足なく、タイミングもちょうどよくてストレスなく過ごせました。④カジノでは 50 ドル勝つことができて、助かりました。

24. レストランやバーのメニューはどこエリアでも代わり映えがなかったのももう少しエリアによって違う雰囲気味わえたらいいなと思った。サービスは丁寧でコミュニケーションがとりやすかった。清掃やレセプションの対応も丁寧で、清掃中に部屋に帰ってきてしまったときも、先に違う部屋を掃除してまた戻ってくるという対応もしてくれて親切だった。カジノはお金を使っちゃいそうで挑戦はしなかったが、やっていた学生話を聞いて楽しめるコンテンツであることはわかった。
25. 1 夜のレストランは普段食べないようなコース料理でとても美味だった。ワインも種類豊富で美味しいものばかりだった。2 スタッフの方達は接客が丁寧な事に加え、フレンドリーで注文もとりやすく、家で雇いたいと思うくらいのサービスの良さだった。3 とても部屋を綺麗にして貰って満足したが、着替え中でも「これでいい？」みたいに聞いてくるのはちょっと恥ずかしかったし気になった。冷蔵庫に入ってるドリンクは無料であって欲しかった。4 カジノは楽しかったけど、やっぱりやるもんじゃないなと思った。
26. やはり日本料理とはカロリーが全然違う。脂っこいものが多いような気がする。だけどおいしかったのは自分で具材決めて作ったバーガー。レストランはコース料理で、一品一品のこだわりがすごかった。ただ量は少ないと感じた。バーでは外国人の方が、カントリーロードを歌っていて、それを聞きながら飲むビールがとてもおいしかった。キャビン清掃は朝から晩までやっているような気がして、クルーも大変なんだと感じた。カジノは負けている人をたくさん見たのでやってない。

"船内の SHOW やエンターテインメントの感想

【船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー】"

1. "今回のクルーズ中、ショーは一度しか鑑賞しなかったため、全体的な印象はやや薄いですが、内容としては十分に楽しめるものであった。特に印象的だったのは、カクテルパーティーの雰囲気である。シャンパンを片手に、日本の名曲や世界的に知られるクラシック・ポップスが披露され、心地よいひとときを過ごすことができた。また、船内を歩いていると常にどこかから音楽が流れており、移動するだけでも優雅な気分になることができた。こうした細やかな演出が、クルーズ全体の雰囲気をより一層引き立てており、非日常を味わうには非常に効果的であったと言える。"
2. 私は 2 日目に無料のショー、3 日目に有料のショーを見ることができた。2 日目の無料のショーは歌やダンスが中心となったもので、特に歌手の方の歌声や感情の入りが印象的だった。無料でいいのかなというぐらい楽しむことができた。

た。有料のショーは、ストーリー性があって歌、ダンス、曲芸がメインのショーだった。元シルクドソレイユのかたと聞いていたが、納得の満足度だった。不安定な船の上でバランスを求められるパフォーマンスを完璧にしているのに驚愕だった。

3. 普段、生活しているときにはなかなか体験することのできないショーやパーティーを連日体験することができた。船の中にあれほど大きなシアターがあることに驚き、また船内で大規模なショーを鑑賞できることにも驚いた。今まで乗ったクルーズ船に比べても迫力のあるショーだったと感じる。
4. 結果的に今回はショーを見ていないので感想はないが、毎回争奪戦のようでその人気ぶりを痛感した。スポットが開くと予約をすぐするのが得策だと感じた。
5. 船内鑑賞イベントは有料のショーのみ参加した。予約の手間を考慮して無料ショーに参加しなかったことに後悔した。有料ショーは内容の抽象度が高く、理解が難しかった。しかしながら、ダンス自体の難易度の高さや種類の多さ、照明や動くステージなど魅力が多く、飽きることなく楽しめた。お酒を飲みながら鑑賞できる点や終わった後に出演者と写真撮影できる点にも満足した。
6. すべてのエンターテインメントが満足できるものであった。自分が参加したものは、カラオケ大会やホワイトパーティー、ゴールドパーティー、有料のショー（ミュート）等であり、どれもクオリティや楽しさがとても大きかった。ほとんどのものが無料であったにも関わらず、満足度の高いものであったのもとても良かった。
7. 主人公の男がヨーロッパを鉄道で巡るという趣旨のミュージカルを鑑賞した。音楽には非常に興味があるので、ヨーロッパの国々の音楽を鑑賞できるとてもいいショーでした。観客が見入りすぎて手拍子がまばらだったのが印象的だった。船長が中国語と日本語であいさつしており親近感を感じた。
8. 二日目夜の無料のショーを鑑賞した。ヨーロッパ各国を旅行するというテーマであり、聞きなじみのある音楽もあったこともあり非常に楽しめた。満船であったため、予約の枠がすぐ埋まってしまう、簡単に観に行くことが出来なかったのが少し残念であった。
9. 無料のショーのみ鑑賞しようとして予約サイトを開いたが、前日の時点で予約がいっぱいになってしまった。当日に並ぶ列もあったが、劇場が満員になってしまい鑑賞することができなかったため、予約する際は乗船してすぐするべきだという教訓を得た。節約したいという思いから有料ショーも鑑賞しなかったが、周囲の反応を見て次回は有料カルーセルショーも鑑賞したいと感じた。
10. 船内のショーやエンターテインメントはとても充実していて、無料のショーも本格的な演出とパフォーマンスで見る価値があると思う。ただし、人気のショーは予約がすぐに埋まってしまう、並んでも「入れる可能性はある」と言われて待ってい

たが、結局入場できなかったのが残念だった。無料だからこそ気軽に見られる反面、こうした混雑は対策してほしいと感じた。次回は確実に席が確保される有料のカルーセルショーをぜひ見てみたいと思う。

11. "海上とは思えない本格的な照明・音響設備で、完成度が高く、観客の反応も良いため時間を忘れて非日常的な瞬間に没頭できた。無料とは思えないほどのクオリティで感激している。予約が早々に埋まってしまい機会が限られてしまう点だけ残念であった。"
12. 今回はショーの時間にプールなど他のことをしていることが多かったので自分の目で見たショーはない。ただし、周囲の人たちの感想を聞いていると高評価が多かったので、私に再びショーが行われるクルーズに乗る機会があれば、是非見てみたいと感じた。
13. あまり予約を取らなかったのも、他の人と比べてショーを観た回数はかなり少ないと思う。昼間に無料の大道芸的なショー(ストーリー性は特にない)を観たのだが、パフォーマーが英語、中国語、日本語の3カ国語を話しながらパフォーマンスしてくれたのが面白かった。また、観客参加型のものが多く、子供も大人もステージに上がっていて、きちんと笑いをとっていたのすごいなと思った。
14. 船内で毎晩開催されるショーは、無料のものとは思えないほどクオリティが高い。プロのダンサーや歌手によるパフォーマンスは圧巻で、特にダンスのキレや演出の凝り方に見入ってしまう。ステージの照明や音響設備もしっかりしていて、まるで本物の劇場にいるような感覚になる。有料のカルーセルショーも観てみると、テーマ性が強くて感情移入しやすく、値段以上の満足感がある。ショーは日によって内容が違うから、何回観ても飽きないし、友達と感想を語り合うのも楽しい。観客との一体感もあり、拍手や笑い声が自然と出る。パフォーマーと距離が近く、迫力を肌で感じられるのも魅力。日中のダンスレッスンやビンゴ大会なども合わせて、クルーズ全体が“エンタメ空間”として成立しているのを感じる。
15. 船内のエンターテインメントは非常に充実していた。無料ショーは完成度が高く、プロフェッショナルな演出で観客を魅了した。特にダンスや歌唱力、オペラのような技術には目を見張るものがあり、日常では味わえない非日常の体験であった。自分自身のクルーズ体験を彩る重要な要素の一つであった。
16. 船内で行われるエンターテインメントは想像以上に本格的で、毎晩違う楽しみがあるのが嬉しい。プロダクションショーは照明や音響、パフォーマンスの質が高く、無料とは思えないクオリティに驚かされる。船内各所で行われるミニイベントやライブ演奏も雰囲気がよく、ゆったりとした時間の中で気軽に楽しめるのが魅力だった。

17. ショーは見にいきたかったが予約が取れずなくなく断念してくやしかった。中央広場のようなピアノがあるところで日本の曲を歌っていた人がいて親近感がわいてうれしかった。イベントの詳細をよくみておらず、いつどこでどのイベントをしているのか把握できていたところがあったので、もったいなかった。
18. 予約が必要なショーは一度も行くことができなかったが、ダンスパーティでダンサーたちが楽しく踊っている姿はとても魅力的でよかった。
19. 船内のエンターテインメントはどれもクオリティが高く、特にプロダクションショーは無料とは思えないほどの迫力と完成度で感動した。残念ながら、有料のカルーセルショーは見ることはできなかったが、参加していた人によると演出・舞台美術ともに一流で、無料のものよりクオリティが高かったといっていたので次は参加したい。毎晩違う演目が用意されており、飽きることなく楽しめたのが印象的だった。
20. 不参加であったが、様々な場で見かけたダンサーは常に笑顔を絶やしておらず、プロ意識の高さがうかがえた。毎晩のショーはほぼほぼ予約することができず、それだけ満足度の高さを表しているのだと考えた。
21. オペラや仮面舞踏会的なものは何を言っているのか全然分からなかったが、歌や舞踊といった芸術は国境を越えるなあと思った。
22. 残念ながら、鑑賞イベントやショーを見ていない。
23. 私は無料のプロダクションショーに参加しました。次々と登場するパフォーマーたちの技や演出に目が離せず、昨年同様とても楽しめました。船内のエンターテインメントは質が高く、非日常の雰囲気味わうのにぴったりだと感じました。有料のカルーセルショーは今回は見ませんでした。機会があればぜひ体験してみたいです。
24. プロダクションショーとカルーセルショーのどちらも鑑賞したが、やはりダンサーのレベルやショーの雰囲気が違っておもしろかった。カルーセルショーはシルクドソレイユの元ダンサーなどがやっていることもあり、お金を払ってでも見る価値のあるものだと思い、感動した。一日に同じ公演を数回やるダンサーさんの体力にも驚かされた。
25. 2日目のショーは歌とダンスを混ぜたような感じでこちらも盛り上がる事が出来てとても楽しかった。有料のショーはさすがと言うべきか、常に驚くような演出ばかりで何度も頭から落ちるんじゃないかと肝を冷やしたが、それがスリルとなり楽しかった。
26. カルーセルの有料ショーが一番感動した。僕は男子新体操を小学生のころからやっていて、男子新体操からシルクドソレイユに選抜されることもある。だからシ

ルクの演者たちがどれだけ練習してきたか、どんなに失敗してきたかもわかる。それなのに本番一発という舞台で、あれだけの完成度の高い演技ができるのは、さすがプロだなと感じた。

"船内の施設での体験に関する感想

(ジム・ゲーム(ボーリング、VR、FI)・カジノ・SPORTPLEX など)や体験型イベント(ダンス PARTY・ビンゴなど))

1. カジノは仲間内でとても楽しんだ。タコ負けからちょい勝ちであったので、もう少し易しくしてくれるとありがたい。ダンスパーティーは目一杯騒いだ。大人数と大音量で騒ぐ瞬間はとても楽しかった。もう少し音楽のレパトリーを増やしてもらえると楽しみやすいと思った。1 日目は船内探索、2 日目はプール、ジャグジー、カジノ、3 日目はカジノ、ダンスパーティーといった過ごし方だった。
2. 私は船内施設はジムにしか行けていないが、器具やヨガマットがそろい、人気のありそうなランニングマシンや室内サイクリングマシンは多数そろえてあって、自分のペースで運動することができた。ダンスパーティーは人生で初めて参加したが、いい意味で羽目を外して思いっきり踊ることができた。また、キャストの方とも一緒に踊って交流できてとても楽しかった。1 日目は、スマートクルーズアカデミーとしての活動以外は、船内の探索をしたり、2 日目の船内学習の準備を行った。夜は東京まで移動してきた疲れがたまっていて、同室の中嶋さんとおしゃべりしながらゆっくりと過ごした。2 日目は、船内学習のあと、プールサイドで勉強しながらゆっくり過ごした。そのあとにジムに行って、夜に向けておなかを減らすために運動をした。夜はカラオケに行ったり、ゴールデンパーティーで踊ったりみんなでワイワイ楽しんだ。3 日目は、船内学習を行ったのち、ジャグジーを楽しんで、有料のショーを見に行った。夜はフォーマルで食事をとった。その際、クルーの方や先生方、友人に誕生日をお祝いしてもらえてとてもうれしかった。その後はホワイトパーティを楽しんで、倉本先生と大阪大学 4 回生でお話した。
3. アジア人が多く、ダンスパーティーなどは前回より盛り上がりがないのではないかと考えていたが、クルーの方の盛り上げ方もうまく、多くの人が楽しんでいた。1 日目は船内にどのような設備やアクティビティがあるのかを見て回った。2, 3 日目はイベントがたくさんあったので、イベントを友達と楽しんだり部屋でリラックスして過ごしたりした。また、ビュッフェで休憩しながら友達と過ごしたりもした。

4. プールや卓球、事務など遊ぶ場所がそれぞれ分散しているので人が密集しづらく、人数のわりに楽に行動できたと考えている。初日は夜人が少ない時間にジャグジーやプールでゆっくり、2 日目はプレゼンテーション終了後にスライダーとプール、ビュッフェで昼食後休憩し夜のパーティーに備える。3 日目も 2 日目とほぼ同じ。
5. ジムでは運動・筋トレのための様々なマシンやサウナが設置されていて、クルーズ上でも運動を楽しめた。普段ジムには行かないが、クルーズでは時間があるときにジムに行き、体をリフレッシュできた。スライダーは少ない待ち時間で迫力のあるライドができて楽しかった。またジャグジーで疲れを癒すこともできた。さらに、屋内プールの近くに設置されていたサッカーゲームや卓球を楽しむこともできた。加えてダンスパーティーは 2 日目のゴールドパーティー、3 日目のホワイトパーティーともに一番興奮したイベントだった。自分の知っている曲も多く、外国の方や他大生と交流もする機会になり非常に楽しかった。1 日目はウェルカムランチを食べた後、クルーズ内を探索した。その後、カジノやバー、ジャグジーで友達との時間を楽しんだ。2 日目はバッフェで朝食を食べた後、スライダーでたくさん遊び、カジノを楽しんだ後、甲板で風を浴びながら休んだ。夜にはパーティーを楽しみんだ。3 日目は雨が降っていたので屋内でのアクティビティを楽しんだ。ジャグジーやカジノ、ジムなどだ。その後、ショーを見て、レストランでご飯を食べて、ダンスパーティーに参加をした。ダンスパーティーでは他の大学の学生と声を出しながら踊り、時間を忘れるくらい楽しめた。その後、バーで先生やゼミ生、多大生と交流することができ、会話を楽しめた。
6. 1 日目はクルーズ船全体がどのようなになっているのかを知るために散策の日とした。大学生でのスポーツ大会もあり、体育館を活用した。そのあとは自室でくつろぎ、夜ごはんはにレストランに行った。その後室内プールで遊び、バーにも行った。1 日目から非常に満足度の高いものとなった。2 日目は朝からジムを活用し、その後スライダーに行った。正直スライダーはそれほど大きくなかったが、船上であることを加味すると十分なものであったと思う。その後はカジノで少し遊び、レストランへ行った。レストランではイタリア仕様で音楽や踊り等がありとても楽しめた。その後バーやカラオケ大会、ゴールドパーティーへ行き、雰囲気も踊りも楽しんだ。3 日目は朝食後カジノに行き、一稼ぎしてプールで遊んだ。そしてフォーマル衣装でみなと交流し、着替えてホワイトパーティーで長時間楽しんだ。
7. スライダーを滑ったことがなかったので、ほかのゼミ生がプールに遊びに行

くという話を聞いた途端に同行した。想定以上に人が並んでいたが、滑ってみてその理由がわかった。プールの水がすべて海水だったのには驚いた。ジャグジーを浴槽代わりにしてリラックスした。1 日目はスポーツ大会に参加して疲れた。2 日目は先述の通りスライダーを楽しんだ。3 日目は最後のホワイトパーティーに参加し、他大学の友達と最後の思い出作りをできた。倉本先生に誕生日プレゼントを渡せてよかった。

8. プールのスライダーで遊んだが、久しぶりに遊んだこともありとても楽しかった。プールの水は冷たく、長くはいられなかったが、その代わりジャグジーはとても気持ちよかった。海の上かつ青空の下というロケーションであり、いくらでもジャグジーに浸かっていられるなと思った。今回は寄港することもなかったため、ゆったりと過ごした。朝はゆっくり寝ていたり、午後に部屋で休憩したりできた。初日に船を一周見学してみてどんな感じが把握した後、二日目三日目で様々な施設を遊びつくした。
9. 朝から晩まで施設やイベントでの体験が楽しめた印象がある。1 日目は初めての MSC だったため、スポーツ大会や船内を見て回ること一日の時間を使った。室内プールやジャグジー、プールサイドでのサッカーゲームを楽しんだり、バスケットボールなどの運動で時間を過ごした。二日目は、クルーとの交流会後スライダーを何度も滑り、中国から来た乗客との卓球、パターゴルフイベント、YES/NO ゲーム、プロムナードでのストレッチなど船内イベントを楽しんだ。ゲームセンターは日本国内とは異なったゲーム機が置かれており、盛り上がる瞬間の一つとなった。三日目にはbuffetで沢山食事をした分ジムで体を動かした。また、フォーマルな恰好で写真撮影を楽しんだり、ホワイトパーティーやカラオケに熱中した。
10. 船内には多くの施設があり、ジムやスライダー、アスレチックなども充実していて、まるで海上のリゾートのような空間だった。1 日目は、まず船内をぐるっと見て回り、各フロアの施設やレストランの位置などを確認しながらワクワクして過ごした。2 日目は昼間はゆっくり過ごし、夜には「ゴールデンパーティー」に参加して音楽に合わせてたくさん踊り、最高の思い出になった。3 日目は朝からスライダーで遊び、夜は「ホワイトパーティー」でまたたくさん踊って、最後まで全力で楽しんだ。日常では味わえない非日常の楽しさが詰まった 3 日間だった。
11. プールなどは複数あり、それぞれ異なる魅力を有しており素晴らしい。ダンスパーティーは没入感があり、会場全体が盛り上がるため、時間を忘れて楽しむことができた。また体育館やジム、ゲーム機やボウリング等もあり豊富

に楽しみ方が用意されているのが良い。

12.スライダーは複数人で行ったが、様々な人と一緒にスライダーを滑ることができ非常に楽しかった。また、ジムは基本的に特段することがないときを中心に何度か行ったが、良い気分転換となった。ダンス PARTY は個人的には今回のクルーズで最も楽しめたイベントの一つで、多くの人たちとテンション任せて踊ることができ非常に楽しめた。1 日目は避難訓練やスポーツ大会などのイベントが多く自由時間が少なめだったので、夕食後の自由時間を用いて屋内プールに行った。2 日目はスライダーに行った後はジムなどで時間を消費した後パーティーで楽しんだ。3 日目はプールなどで夕方まで時間を使った後、夜はラウンジでのんびり過ごした。

13.アスレチックに行ってみたかったが結局行けなかったのが少し残念だった。また、ビンゴもやろうかと思ったが意外と高額だったのでやめてしまった。ダンスパーティーは人生で初めてだったがとても楽しかった。ただ飛びすぎると三半規管がおかしくなるのだなと学んだ。【1 日目】レストランに着いたものの営業時間が終わっていたのでビュッフェでお昼ご飯を食べた。Welcome on board のケーキも食べることができた。スポーツ大会でジェラートをいただいた後、翌日のプレゼンの打ち合わせをスカイラウンジで行った。途中で夕陽が見えてきて、とても綺麗だったので外で写真を撮った。他の日はあまり綺麗に見えなかったのが初日に見ることができてよかった。夕食の後は初日は私は特にショーなどは予約していなかったので、船内の全フロアを回った。【2 日目】プレゼンでまたジェラートをいただいた。午後は大道芸的なショーを見たりゲームをして過ごした。夜はカジノとカラオケを回ってからパーティーに行き、その後ビュッフェで大量にフルーツをとってプールサイドで食べた。【3 日目】ビュッフェで朝ごはんを食べていたらクルーにお水とジュースをサービスしてもらった。スタッフとの交流会の後はまたビュッフェで大量にご飯を取った。途中で苦しくなったので同期を呼んだら結局ゼミ生がたくさん来て楽しかった。フォーマルに着替えてからは、私は有料のショーは予約していなかったので先輩方と一緒にずっと写真撮影をしていた。夜を食べてからはまたカラオケに行き、少し遅れて white party にも参加して楽しめた。

14.ジムでは海を見ながらランニングができて、朝から爽快な気分になる。スライダーは思った以上にスリルがあって、大人でもはしゃいでしまう。アスレチックも本格的で、みんなで挑戦すると盛り上がる。1 日目は船内探検と避難訓練、ショー観賞であっという間に時間が過ぎる。2 日目はプレゼン大会、

3 日目はクルーとの交流、夜はフォーマルナイトで少しおしゃれしてレストランへ行く。毎日違う楽しみ方ができるから、全く退屈しない。体験型イベントは誰でも参加できて、友達もしやすい雰囲気がある。特にダンスパーティーは盛り上がりがすごく、旅の思い出として強く残る。アクティブに過ごせるのがこのクルーズの魅力の一つ。

15. ジムやスライダー、プールなどのアクティビティ施設は清潔かつ使いやすく設計されており、快適に利用できた。特に屋外プールでは他の乗客との交流も生まれ、クルーズならではの開放的な雰囲気を楽しむことができた。夜のイベントではクルーズ PARTY が特に印象に残っており、全体の雰囲気を盛り上げる要素となっていた。また、1 日目はプールに行き、2 日目はビンゴ大会やスライダー付きプール、ダンス PARTY、3 日目はジム、ビンゴ大会、ダンス PARTY で遊んだ。

16. 船内のジムは広々としていて設備も充実しており、海を眺めながらのワークアウトはとても爽快だった。スライダーやアスレチックも大人が本気で楽しめるスケールで、童心にかえって夢中になれた。夜のダンスパーティーは音楽と照明の演出が華やかで、乗客同士が自然に交流できる雰囲気が心地よかった。ビンゴ大会も盛り上がり、家族連れから年配の方まで楽しめる内容だった。1 日目は船内探検をしながらのんびり過ごし、2 日目はショーやスライダー、ビンゴ大会を満喫。3 日目はジムでリフレッシュしつつ、最後の夜はダンスパーティーとショーを思いきり楽しみ、充実したクルーズライフを過ごした。

17. 周り一面海の屋上でプールであったり、ウォータースライダーを楽しめ、爽快感がすごかった。ウォータースライダーはしっかり速いのがよかった。一番楽しかった体験はダンスパーティーである。特に日本ではみんなで踊り狂うことなどほぼないので新鮮ではしゃぎまくるのは楽しすぎた。一日目はまず船内を把握するためにすべての階の端から端までぶらぶらした。二日目は体育館でスポーツをしたり、プールにいて遊び、夜にはみんなでダンスパーティーで踊りまくった。三日目は、ドレスをきていろんなところで写真を撮りまくって、ビュッフェを楽しみ、夜にはプール沿いでみんなで踊り、最後にカジノを楽しんだ。

18. 1 日目の自由時間はプールに行ったりビュッフェに行ったりした。プールは小学校以来初めてだったのでとても楽しかったし、ビュッフェはジャンキーなものばかりで食べたいものだけを食べる幸せな時間だった。2,3 日目は、ダンスパーティーとビンゴに参加した。ビンゴは当たらなかったがリーチが

たくさんできてわくわくを楽しめた。ダンスパーティーは全力で踊り、歌うことができていいリフレッシュにもなった。3日目はカジノにも行き、日本では楽しめない賭け事の楽しさに気づいた。

19.船内施設はどれも充実しており、ジムでは海を見ながらトレーニングでき、特別感があった。1日目はスライダーが点検だったためプールのみだったがい思い切り楽しめた。ダンスパーティーでは音楽に合わせて他大学や多国籍の人と盛り上がり、ビンゴ大会では景品目当てに白熱し、良い思い出になった。1日目は船内探索とショー鑑賞を中心に過ごし、施設の多さに驚いた。2日目はスライダーを満喫し、夜はレストランとカジノを体験。3日目はアスレチックや交流イベントに参加し、最後までアクティブにクルーズライフを楽しむことができた。

20.プールが豊富で、特に複数のスライダーでは、それぞれ違った滑り心地で、何度も挑戦してしまった。塩水プールであったために目にしみたり、髪がべたついたりしたときもあったが、それを差し引いても素晴らしい環境であった。そして、最終日のダンスパーティーでは、所属大学や学年を関係なく今までの人生でも考えられないほどに盛り上がり、その空間が非常に心地よかった。叫びすぎて後日のどが痛かったことも、今となってはいい思い出かもしれない。

21.1日目は特に何もしておらず、ご飯を食べて寝るだけであった。船内マップを頭に叩き込むために適当に散歩をした。2日目は色々とイベントに参加し、ぼちぼち楽しんだ。プールやスライダーは基本皆についていき、撮影をし続けていた。みんなが楽しそうでなによりであった。

22.ウォータースライダーはとても楽しかったが、誓約書を書くために長い列に並び、スライダーに乗るために長い列に並び、かなりの待ち時間があったためあまりたくさんは乗れなかった。ビンゴカードはお高めだったが、司会の盛り上げ方が面白く、ビンゴは当たらなくても楽しい時間だった。ダンスパーティーは最初は少し恥ずかしかったが、その場の空気感に飲み込まれ、知らない人とハイタッチしたり、思うままに踊ったり、日常では味わえない素敵な時間を過ごすことができた。一日目は、船内を探検、二日目はスライダーやプールを楽しみ、夜はダンスパーティーに参加、三日目はダンスパーティーに参加したりカジノを楽しんだり、ビンゴをした。

23.船内ではスライダーとプールを利用し、爽快な気分を味わいました。ダンスパーティーでは自分が踊れるだけ踊り、他大学の人や後輩たちも一生懸命楽しんでいる姿が印象的で、みんなで盛り上がられて本当に感謝の気持ちでいっ

ばいです。1 日目は船内探検やレクリエーションで交流を深め、2 日目はプログラムやスポーツ交流、ダンスパーティーに参加して充実した時間を過ごしました。3 日目はリラックスしながら次の目的地への準備をしつつ、友人たちとの時間を大切にしました。連日、食べて飲んで遊んで寝るという充実したクルーズライフを満喫しました。

24. 船の上のウォータースライダーは船に乗る前からずっと楽しみにしていて、実際に体験して本当に楽しかった。普通のプールでもあまり体験できないことを船の上で体験できたことが思い出に残った。ダンス PARTY は周りの雰囲気飲み込まれて、とてもテンションがあがった。1 日目は船内を探索して、プレゼン大会の話し合いをして、夕日を見た。2 日目はプレゼン大会、プロムナードでのストレッチ・ダンス、ウォータースライダーとプール、プロダクションショーの鑑賞、ゴールデンパーティーに参加した。3 日目はジャグジー、ビュッフェランチ、フォーマルナイト、カルーセルショーの鑑賞、ホワイトパーティーに参加した。

25. 1 日目は荷物の整理とクルーズ内の見学と 2 日目のプレゼンの準備に時間を使った。2 日目はプレゼン後にビンゴを買ったが特になにもなく終わり虚しさやハズレのカードだけが残った。その後はプールに入ってからディナーとなり、ショー見学をし、他大学の方達と BAR で呑み、カジノへと向かい惨敗という流れで 1 日を締めた。3 日目はカジノの記憶を忘れるため、ジムで 10km 走った後にプールでウォータースライダーを滑り、船内を散歩した後に有料のショーへと行った。その後夕食をとってからホワイトパーティーに参加した。これがクルーズパーティーで群を抜いて 1 番楽しかった。他のパーティーに参加しなかった事を後悔するくらいに。最後にスカイラウンジで少し呑んで就寝。

26. まず船の上にウォータースライダーや、プール、アスレチックがあること自体すごいと思った。ダンスパーティーは全員が一体化して、会場を盛り上げている感じがした。国籍関係なく楽しめるのがダンスのいいところ。一日目はとりあえず友達を作ろうということで、話しかけまくった。そのおかげで、キャッチコピーを考える時は気まずさがなかった。二日目は友達が出来たのでその友達のことをもっと知ろうと、夜に山口大の方々とバーに行った。皆さん話が面白いのでビールが進んだ。三日目はもっと友達を増やそうということで、プールサイドで外国人の方々と肩を組んで、電車ごっこみたいな遊びをした。

乗船港(東京)での感想

(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. 目立った混雑もなく、とてもスムーズだった。出国審査するところにエアコンがかかっていてとても涼しくて良かった。飲み物を買って忘れていたのだが、自動販売機の中に設置されていて、便利だった。公共交通機関でクルーズターミナルのところまで連れて行ってくれるとなお良かった。
2. ターミナルはとてもきれいで、人が多くても混まないように順路が作られていたのが印象的だった。荷物を預けると乗船までスムーズに進んでしまい、逆に戸惑ってしまった。基本、最初は英語で話しかけられて、日本のパスポートを提示すると日本語で対応してもらえようなかたちだったので、乗船手続きをするときから既に海外旅行気分であることができた。
3. 乗船時の対応はかなりスムーズであったと感じた。一方でなぜ渡されたのかわからない使わなかった紙があったり、乗船案内の紙がどの紙が何の言語かわかりにくかったりと、改善できる点はあるのではないかと感じた。
4. 導線に関しては比較的スムーズではあったものの、パスポートチェックや身分証明書確認のタイミングやその流れに少し非効率性を感じた。
5. まずモノレールからのアクセスが良かったです。大きな荷物を持っていたので駅から近くて便利でした。また、ターミナル施設は甲冑の展示なども行われていて外国人旅客を想定した日本のPRが充実していた印象でした。また、乗船時には日本人の方が丁寧に対応してくださり、スムーズに乗船することができました。
6. 東京駅から近いとはいえ、少し不便に感じた点もあった。ユリカモメがそれほど大きくないというのもあって、スーツケースをもって複数人で行くには不便であった。ターミナル自体は不満はなく、乗船時対応も、スタッフ等の対応が丁寧でとても良かったと思う。
7. 特にありません
8. とてもきれいなターミナルで、スタッフの方も多くいて、快適に乗船することが出来た。その一方でゆりかもめの最寄り駅は一度に大勢の客が来る事を想定しているものではなく、混雑していた。階段かエレベーターを使って地上に降りるしかなく、エレベーターには30人ほどが列を作っていた。
9. ゆりかもめの駅から乗船場までが遠く荷物をもって移動するのが大変だったこと以外は、とても満足できるものだった。出港や乗船は時間がかかるイメージを持っていたため、チケットやパスポートの確認、写真撮影までスムーズですぐに乗船で

きた点を高く評価したい。ターミナルで多くの人が手を振ってくれていたのも、とてもうれしかった点である。

10. 入館やチェックインの手続きもスムーズで、長時間並ぶこともなくストレスを感じずに乗船できた。スタッフの対応も丁寧で、案内や声かけが的確だったので、安心して乗船準備を進めることができた。全体的に快適で、クルーズのスタートとして気持ちよく過ごせる港だった。
11. ターミナルはきれいに整備されており道幅も広くキャリーケースが痛まないよう路面が滑らかに舗装されており良い。乗船時の手続きが非常にスムーズで時間をかけずに乗船ができる点は感動した。手続きを執り行うスタッフの対応も親切で、様々な言語に対応してくださるので安心した。
12. 乗船人数の多さの割には、全体的に流れがスムーズで特にストレスを感じることなく乗船ができた。手続きも簡単でわかりやすいものが多くその点に関しても良いように感じた。またターミナルがとても綺麗でわかりやすいと感じた。
13. 乗船前に全体で合流するのかなと思っていたので、少し困惑した。たまたま同期と行きの電車が同じだったのでホッとしたが、そうでなかったら手続きそのものはそれほど複雑ではなかったものの、初回だったので少しハードルが高かったように感じた。対応については特に困った点やトラブルなどはなく、スムーズに乗船できた。
14. 乗船当日は早めに東京国際クルーズターミナルに到着した。建物は新しく広く、案内表示が分かりやすい。スタッフの誘導もスムーズで、チェックインの流れもストレスがない。セキュリティチェックを通った後のロビーは開放的で、いよいよ船に乗るというワクワク感が高まった。友達と「もうすぐ乗れるね」と話しながら、記念写真を撮ったりして出発前の時間を楽しんだ。ターミナルには飲食スペースや土産物屋もあり、待ち時間も退屈しない。港から見える MSC ベリッシマの姿が迫力満点で、「これから数日間、ここが自分たちの家になるんだ」と思うと不思議な気持ちになった。全体的に、スタート地点としてとても良い印象を受ける場所。ここから非日常の旅が始まるのだと実感し、気分が一気に高まった。
15. 港のターミナルは清潔感があり、案内表示も明確で初めての乗船でも安心感があつた。集合場所もスムーズに誘導され、スタッフの対応も親切であったため、乗船前の不安を軽減することができた。長蛇の列であったとき、話しかけていただき、スムーズな乗船であった。
16. 東京の乗船港はアクセスが良く、ターミナル施設も清潔で快適だった。チェックインの手続きはスムーズで、スタッフの対応も親切丁寧だったため、初めてのクルーズでも安心して乗船できた。待ち時間も少なく、案内表示がわかりやすいので迷

うことなく船に向かうことができたのが良かった。港からの景色も美しく、出発前から旅の気分が高まった。

17.乗船時はスタッフが大勢いて入国審査など手続きがたくさんあったが比較的スムーズに進めた印象がある。外国人スタッフの方が多かったがコミュニケーションにてこずることなく、丁寧な対応だった。スタッフがみんな笑顔で迎えてくれるので楽しい雰囲気でも不安もなく乗船することができた。

18.施設内の金魚提灯は山口の民芸品なので少し親近感がわいた。お台場駅から少し遠かったのももう少し新橋駅などで案内があればいいと思った。ターミナルに向かう途中で見えるクルーズ船はとて大きくて近づくにつれてわくわくが膨れ上がった。

19.東京港のターミナルはとても清潔で広々としており、スムーズに移動できる動線が確保されていて快適だった。これから海外にいくのかという不安要素がかなり軽減された。スタッフの方々の案内も丁寧で、初めての乗船でも不安なく手続きが進んだ。乗船までの待ち時間も最小限で、全体的に安心感のある対応だったように感じる。日本の接客スタイルも素晴らしく誇るべきものだろう。

20.アクセス面では、ゆりかもめの「東京国際クルーズターミナル駅」から徒歩圏内で、大きな荷物があっても比較的移動しやすい点は評価できる一方で、電車を降りてからターミナル入り口までの導線が少し分かりにくいと感じる部分もあった。また、パスポートを預けるのはかなり不安があったものの、無事返ってきてよかった。

21.場所についても有明近くで以前利用した BBQ 会場も近くにあり、見知った場所であった。そのため迷うことなく回顧しながら歩いており、楽しかった。またターミナル内に山口県柳井市の名産である金魚も飾っており、驚きました。サービスや施設については言わずもがなである。

22.最寄り駅から出ているシャトルバスを利用したが、バス停までの道のりにスタッフさんが待機していて、迷うことなくターミナルにつくことができた。入国審査やその他の手続きなど、人が多いがスタッフ数もかなり多かったため、さほど待つことなくスムーズに乗船できた。荷物を預ける際も、親切に対応していただけて、とてもありがたかった。

23.東京の乗船港は施設が整っていて清潔感があり、利用しやすいと感じました。乗船時のスタッフの対応も丁寧でスムーズに進み、特に混雑することなくストレスなく乗船できました。ただ全体的に安定したサービスだと思います。今後も変わらず快適な環境であってほしいです。

24.東京港に到着し、荷物預けのときは順番が回ってこず、日本人のスタッフと台湾人のお客さんとの英語でのコミュニケーションがうまくいってなくて少し時間が

かかった。港からの景色やターミナルはきれいで清潔感があったので、良い印象を受けた。

25. 諸事情で1人でターミナルへと向かったのですが、かなり不安だったが他の人に付いていだけで乗船出来たので乗るだけなら難しくなかった。それでも、キャリアをどこに預ければいいかわからずにでっかいキャリアを引きずりながら歩くのは大変だった。受付のスタッフさんの対応はとても丁寧だった。

26. クルーたちのほとんどが、日本語を話せた。そのおかげでスムーズに入ることが出来た。顔写真を撮るときも笑顔が絶えなかったり、毎度「いってらしゃい」や「ごゆっくりどうぞ」など声を掛ける。そういうのは当たり前な世界かもしれないが、言われるといい気分だ。

下船地（基隆）での感想

（港・ターミナルの施設評価、観光地としての魅力など）

1. 台湾は初めて訪れたが、ターミナルはすっと通れて良かった。しかし、パスポートがほとんど確認されなかったのが、どこで確認しているのだろうと感じた。すぐに電車がなかったので、便利だった。タクシーが安かったので、タクシーを使うときもあった。
2. 東京港で乗船するときはみんな分散していたため、スムーズに進んだが、下船するときは5000人が一気に動くため、下船・入国の手続きに時間がかかった。乗船人数がすごく多いことを体感できた瞬間だった。東京港で英語の対応が目立った一方で、基隆港では台湾人のかたが日本語で対応してくださったのが印象的だった。荷物の受け取り場所などは移動ルートが複雑だったので、日本語で対応してもらえたのはとてもありがたかった。
3. 入国出国審査がかなりスムーズ、また思っていたよりも簡易的で驚いた。かなり多い人数が一気に下船するにもかかわらず、分散下船によって、ほとんど立って待つ時間はなかった。また、駅と直結しており、基隆駅から台北駅までも乗り換えなしで行けるのがかなり便利であると感じた。
4. 下船後かなり歩かなければいけないターミナルも多い中、下船後からターミナル外に出るまでがスムーズだったと感じた。
5. ターミナルの施設として、台湾のお土産が販売されていたり、台湾の観光地の紹介が充実していた。下船時の対応にも満足した。ターミナル自体は駅から少し遠かったのですが、移動の過程で熱帯特有の暑さや台湾の風景を眺めることができ、それはそれで楽しめた。

6. 基隆港はそれほど大きくもないためか下船客でごった返していた。何か対策をしたらいいのではと思うほどであった。スタッフの対応も、人数が多いので致し方ないと思うが、少々雑に感じられた。導線の確保が三角コーンでされているがために、人の動きでコーン自体が動いてしまい、あまり機能していなかった印象がある。
7. 特にありません
8. 平面のつくりで、東京に比べると簡素であったが、清潔であった。人員は十分配置されていて、列の流れは比較的スムーズであった一方、一気に大勢の客が下りたことや、荷物が多いこともあり、窮屈な印象を受けた。
9. 下船時は、乗船時に比べて時間がかかった印象がある。下船する際に、朝からbuffetや船内がとても混雑しており、キャリーケースをもってエレベーターに乗るのが非常に困難だった。また、下船してからパスポートを見せてターミナルから出るのにも時間がかかったため、その混雑が緩和されるとより良いサービスが提供できると感じた。
10. 基隆港での下船は、乗客の多くが大きな荷物を持っていたこともあり、少し時間はかかったが、全体的にはとてもスムーズだった。スタッフの誘導も的確で混乱はなく、順番に進めば自然と外に出られるようになっていた。
11. 下船時は乗船時より大幅に時間がかかり驚く。デポジットについてトラブルがあったが船員さんは丁寧に対応してくれるので安心する。ターミナルはよく整備されており、wifiもあるのでインターネットを使うこともできるため非常に良い。
12. 下船時、荷物検査などに時間がかかったように思われたが、下船人数の多さを考慮すると仕方ないように思われた。全体的にそこまで気になる対応はなかったが、船を降りた後の荷物検査の際に現地の方々が荷物を投げるように扱っていたようでそこは少し気になった。
13. 下船対応そのものは特に問題は感じなかったが、下船した後の預け荷物を回収するゾーンの收拾がついていなかったと思う。列を仕切るものがなかったため、どこに並べばいいのかよく分からなかった。結果的には同じ列に辿り着くようになっていたが、所要時間にかなり差があったと思うので列の整理が必要なのではないかと感じた。
14. 台湾の基隆港に到着すると、港のすぐそばに都市の景色が広がっていて、「海外に来た」という実感が一気に湧いてくる。下船手続きは整然としていて、混雑もなくスムーズに進む。ターミナルの中も清潔感があり、案内も分かりやすい。現地スタッフや係員の対応も丁寧で、英語や日本語の表示も見られるので安心感がある。荷物の受け取りも問題なく済んで、「いよいよ台湾の街を歩ける!」という気分

になる。外に出ると、バスやタクシーがすぐに手配できて、市内へのアクセスも良好。港からの景色も独特で、異国の文化を感じられる瞬間がとても印象に残る。日本とは違う空気感の中で、新しい冒険が始まるワクワク感が再び込み上げてくる。下船の瞬間が、また一つのハイライトとして心に残る。

15. 下船時のターミナルでは混雑が発生していたものの、スタッフの誘導が的確であったため、大きな混乱はなかった。施設は清掃が行き届いており、荷物の受け取りもスムーズであった。旅の終わりにふさわしい丁寧な対応が印象に残った。

16. 基隆の港に到着したとき、港やターミナルはコンパクトながらも清潔で整備されていて、使いやすい印象を受けた。下船時のスタッフの案内は的確でスムーズに進み、不安なく移動できた。初めての海外寄港地として緊張もあったが、親切な対応とわかりやすい案内で安心感があった。港の周辺には地元の活気ある雰囲気が感じられ、下船後の観光にも期待が膨らんだ。

17. 下船の際は、お客さんごとに下船するタイミングをずらしていたが、船をおりてからかなり行列ができており、なかなか進まなかった印象がある。ただそこまで気にはならなかった。台湾に近づくにつれてじめじめした暑さになっていたが下船時も非常に熱く、台湾の気候を感じていた。

18. youtuber などの情報では下船に時間がかかったとあったが、私は船からスムーズに出ることができたのでよかった。ターミナル内は涼しく快適だったが、出た瞬間から熱波が押し寄せてきて台湾を感じることもできた。バス乗り場や駅から少し離れていたのも少し不便だった。

19. 正直下船した時の記憶はあまりなく、自分としては初めての海外渡航だったため、ちゃんと台湾観光できるのか不安だった。またお金をどの程度両替するべきなのか全く相場がわからずしっかり調べていくべきだったと若干後悔した。また、船の中ではWIFIが接続不可だったため台湾についてようやくつながり安心した記憶がある。下船の対応は特に印象に残っていないので普通だったと思う。

20. 下船時の対応については、クルーと現地のスタッフが連携して、スムーズな流れを確保していた。荷物の受け取りも比較的迅速で、入国審査も大きな混雑なく通過できた。一部、両替所での行列が見られましたが、これは多くの乗客が一斉に現地通貨を必要とするため、ある程度の混雑は致し方ないだろう。

21. 特筆するようなことはないが、強いて言うなら人が多かった。下船した瞬間から感じる台湾の匂いに若干心が躍った。

22. スーツケースを預けたが、番号札と同じ番号の場所に置かれているので、見つかるのに時間がかからず良かった。荷物検査までの列で、注意事項を言われているが、日本語ではないので少し不安に思うこともあった。施設内は清潔で。お手洗

いも利用したが不便はなかった。お土産屋や、両替所もあって便利なターミナルだったと思う。

23. 下船時は人数の割にとってもスムーズに進み、待ち時間がほとんどなかったのが快適でした。港やターミナルの施設も清潔で整っており、案内表示もわかりやすかったです。さらに、日本語を話せるスタッフがいて安心感があり、困ったときもすぐに対応してもらえて助かりました。全体的にストレスなく下船できたと思います。

24. 船を下りてからの荷物の受け取りや入国審査、荷物検査などは少し時間がかかっていると感じたので、船を下りてからの予定は余裕を持って計画を立てた方がいいと感じた。スタッフの対応は簡潔でスムーズな接客だった。

25. クルーズ客船から降りる時は混んではいたが、スムーズに列が進んでいたのが特に何も思わなかった。しかし、ターミナルではかなり混んでいたことに加え、少し非効率な状態で乗船客を捌いていたので、暑いこともありその待ち時間が少し苦痛だった。そこだけ改善をして欲しい。

26. 船を下船する時、少しわかりづらい道があったが、無事下船。日本ではないことを明らかにさせる、どんよりとした空気。湿度が高く、風がぬるい。電車の切符は日本とは違い、プラスチックのコインのようなもの。ホテルの場所がわからず、暑い中ホテルまで20分くらいは歩いた。

台北・基隆での滞在内容・観光地としての感想

1. 私たちは台湾プロ野球を見に行った。チケットを買うときに学割を使えたので、嬉しかった。野球のレベルは日本の社会人野球ぐらいではないかと感じた。食事は吉野家と丸亀製麺に行ったが、日本と変わらないクオリティで美味しかった。あとはとても暑かった。
2. 日曜日は、留学中に会った台湾人の友人と台北市内を観光した。小籠包や豆花などを食べて、たくさんお喋りをした。夜は疲れてしまって早めに就寝した。滞在中、夜市に行けなかったのが心残り…。月曜日は午前中、行天宮に行ってお参りをしたり、おみくじを引いたりした。全員おみくじの内容が散々で、帰りの飛行機が不安になった。その後、台北101でお土産を買った。午後は九份に観光に行った。幸いにも途中から天候が回復して、綺麗な空と一緒に九份の素敵な風景が見れて嬉しかった。千と千尋の神隠しの建物に似ていると言われているお茶屋さんにも行けた。火曜日の深夜2時半の飛行機で帰国した。
3. 1泊2日と短い滞在であったため、九份等の離れた観光地にはいくことができなかった。しかし、台湾ならではの食や景色、博物館等を訪れることができた。故宮

博物館では来訪者に興味を持たせるような体験型の展示が多くあり、内容をすべて理解することはできなかったが、楽しむことができた。

4. 私は台北 3 回目だったので特に新しく体験したことはないが、故宮博物館や夜市・中世記念堂をみんなで訪れることができてよかった。
5. 基隆では駅を利用しただけだった。台北では鼎泰豊での食事や夜市での食事、博物館や台北101、お寺の観光などを楽しんだ。滞在する中で、日本企業の多さに驚いた。また、Uber タクシーの利用が可能で、料金が安く、荷物を持っていても簡単に移動できた。建設中の建物の多さやタクシーの運転手の方からは中心部にツインタワーが立つことを伺い、台湾の成長速度の速さを感じた。
6. 台北では一泊した。初日は基隆から台北まで行き、本場の鼎泰豊に行った。非常に美味だった。その後故宮博物館に行き、伝統に浸ったり、歴史を知りに行った。夜は士桂と寧夏の夜市に行き、ホテルに戻った。2 日目は行天宮に行き、伝統のおみくじなどの経験をした。そして 15 時には空港に行き、帰国した。
7. 降りた時の第一印象は暑い&臭いだった。暑いは最後まで変わりませんでした、匂いは段々慣れた。初日は台湾野球を見に行った。日本の学生証で学割が効いてびっくりした。その日の晩御飯は吉野家に行き、次の日の昼ご飯は丸亀製麺だった。もう少し体力と金銭に余裕があれば、郊外に行ってみたかった。
8. 小籠包のお店に行ったり、タピオカを飲んだりした一方、クルーズ船内での疲れがたまっていたこともあり積極的に観光はしなかった。台湾のプロ野球を観に行ったり、現地にある吉野家や丸亀製麺のお店で食べたりと日本との比較を楽しんだ。
9. 台湾では二泊三日過ごした。一日目は鼎泰豊、故宮博物院、夜市二か所をめぐり屋台での食べ歩きに加えて豆花やタピオカミルクティーを飲むなど、活動的な一日を過ごした。二日目の午前、中世記念堂に儀仗隊の屋外行進を見学に行った。他にも、胡椒餅などのご当地グルメを楽しんだ。午後には九扮に向かい、千と千尋の神隠しのような世界観を楽しむことができた。
10. 台北・基隆での滞在はとても楽しく、食べ物が本当に美味しかった。夜市では台湾ならではの料理をたくさん味わうことができ、大満足だった。現地の人もとても親切で、道を尋ねたときも笑顔で丁寧に教えてくれて温かい印象を受けた。地下鉄は路線がわかりやすく、IC カードで簡単に移動できたので、初めてでも安心して観光を楽しめた。歴史的な建物と現代的な街並みが調和していて、観光地としての魅力も十分に感じられた。
11. 台北では主にナイトマーケットを散策した。ナイトマーケットは活気があり、治安もよさそうであったので安心して観光することができた。台湾は移動にかかる費用

が安く、様々な個所を観光しやすくなっているのが良かった。日本語のメニューや日本語を話せる店員さんもいて快適であった。

12. 今回は荷物をホテルに預けた後に観光をしようということになったので基本的に台北市内に限った観光となった。大量の歴史的展示品が展示されている国立故宮博物院や、たくさんの屋台が出店している士林夜市など主要観光地をいくつか廻ったが、どれも日本と大きく異なる雰囲気を感じることができたように思われた。また日本語が通じる場所も点在し、日本からそこまで離れていないことから、気軽に行ける観光地であるなど感じた。

13. 台北では、鼎泰豊に2回行き、故宮博物院、中正紀念堂、台北101、夜市などを訪れた。特に滞在前に具体的なプランは立てていなかったのだが、先輩方と一緒に楽しむことができた。また、帰国前日に同期がパスポート紛失未遂をして皆で大変焦って搜索する羽目になったので、パスポート管理はやはりきちんとしておかなければならないと改めて感じた旅になった。

14. "台湾滞在中は、まず九份に行って古い街並みを散策する。赤提灯が連なる坂道を歩くと、まるで映画の中に入り込んだような不思議な感覚になる。お茶屋で一息つきながら景色を眺める時間は、旅の中でも特に印象的。夜市では地元の料理を色々試してみて、臭豆腐や小籠包に挑戦する。味にびっくりしながらも、「これが台湾の味なんだな」と実感する。街の人たちは親切で、少しの英語でも通じるから観光しやすい。台北では中正紀念堂や台北101などの定番スポットも訪れて、写真をたくさん撮る。どこへ行っても賑やかで、エネルギーを感じる街。気候も温暖で過ごしやすく、思っていた以上に快適。時間があっという間に過ぎてしまい、「もう少し滞在したい」と思ってしまうほど、魅力あふれる土地だと感じる。"

15. 寄港地では、現地ガイドによる案内がわかりやすく、地域の歴史や文化に触れる貴重な体験ができた。特に市場での買い物や地元料理の試食は、その土地ならではの魅力を感じることができ、観光地としてのポテンシャルの高さを実感した。また、日本語を話す方が見られ、幸せな気持ちに感じた。

16. 台北・基隆での滞在は文化と自然が調和した魅力あふれる時間だった。台北では夜市の活気や地元グルメを楽しみ、街の深みを感じた。基隆は港町ならではの新鮮な海産物が豊富で、どちらも観光地として多彩な魅力があり、短い滞在でも十分に満足できる充実した旅でした。

17. まずクルーズから降りた後に有名な観光地である九份に行った。バスで行ったのだが、そのバスで現地の人に話しかけられたが中国語が全く分からず翻訳機を通して会話をした。楽しかったが中国語を多少は理解したかった。九份では商店街のようなところに行き、臭豆腐などを食べた。その後台北に行ったのだが、台北

はかなり都会で驚いた。夜には夜市に行って台湾の雰囲気存分に楽しめた。電車の切符がコインだったり日本とかなり違って戸惑う場面もあったがそれもまた楽しめた。しっかり調べてから行くとよりよかったかと思う。

18. 下船後はバスで九份に向かい、商店街では中華系の香辛料を思う存分感じる事ができた。その後はバスで台北のホテルに向かい、ホテルで休憩をとった。夕食の時間になると台湾のチェーン店でホルモンのうどんとぎょうざを食べた。ホルモンは牛のハチノスで少し抵抗があったが味も食感もよかった。夕食の後は夜市に向かい、他大学の学生たちと台湾ビールなどを楽しんだ。
19. 台北・基隆での滞在はとても充実しており、歴史や文化、食の魅力を存分に感じることができた。九份の街並みは以前からとても気になっていたところで、私の好きな映画である千と千尋の神隠しの舞台にもなっている場であったためとても楽しめた。人々も親切で、治安も自分の想定していたより良く、観光地としての満足度は非常に高かった。またぜひ訪れたいと思える場所。
20. 交通の利便性が高く、MRT（地下鉄）が非常に発達しており、夜市やホテルへの移動は簡単に行くことができた。清潔で分かりやすい表示も、観光客にとってはありがたい点だった。バスに両替機がついていなかった点は日本に比べて不便であったが問題なく用意できてよかった。
21. 下船後キャリーとともに九份に赴き、ルーローハンを喫した。全体的に慣れない匂いが常に漂い、終始気になっていた。鼻につく、の由来はこれかもしれない。できるだけお金を使わないように努めたが、十分楽しめた。人気観光地である理由が分かった。
22. 海外に行くのは初めてで、すべてに不安があった。特に移動は迷わないか心配だったが、先輩方と団体で行動したので、迷うことなく観光を楽しめた。海外のホテルは日本と違って不便なイメージがあったが、とてもきれいで不自由のないホテルだったためとても良かった。夜市では先生方や他大学の方と乾杯できてとても楽しかった。
23. 私は2泊3日で台北・基隆を訪れ、主要な観光地を効率よく巡ることができました。歴史的な寺院や夜市の活気ある雰囲気、美味しい屋台料理に触れ、台湾文化を身近に感じられたのが印象的でした。基隆の港町の風景も美しく、異国情緒あふれる街並みを楽しめました。短い滞在ながら充実した時間を過ごせて、とても満足しています。
24. 台北では、九份と台北101を観光した。お昼から夕方にかけて九份に行ったが、日本では感じられない雰囲気を感じられ、花文字を書いてもらったり、タロイモやルーローハンを食べたりして台湾を楽しむことができた。しかし、夜に行った方が

風情を感じられるような景色が見られるようで、ライトアップされた九扮も見たいと思った。台北 101 は夕方から夜にかけての展望台からの景色を見た。きれいな夜景を見れたので、観光できて良かった。

25.初日は台北でとったホテル周辺の散策をしていた。中華民国総統府の前を通り、ポルトガルの国旗が見えたので調べてみると元々植民地にされていたらしく、そのような国の国旗を堂々と掲げるのもどうかと思ったが、わだかまりが無くなったと考えれば良いかと自分を納得させた。昼は牛肉麺の店に行ったところ、ミミガーやザーサイなどの副菜的なものが誰でも冷蔵庫から取り出せるようになっていて、お金は取るのだろうが日本の無人販売所のように国民性が高くないと出来ないサービスだなと思った。昼食後は噴水がある公園へ涼みに行ったところ、日本に関する石碑を見つけ Google 翻訳を使ったところ、「日本が敗戦したせいで台湾人は追いやられるはめになった」と書いていて、間違えてはいないのだろうが少しもやっとした。その後、山口大学の人達と合流して晩御飯を食べた後、夜市でお酒やら食べ物を嗜んだ。やはりこれだけ長く続き毎日出してる屋台は日本のどこを探しても無いと考えた。2 日目はホテルの近くで昼に魯肉飯と小籠包を食べてから、九扮に行き写真を撮った。九扮というか、台湾のお店が全体的に閉店時間が早いような気がした。日本の居酒屋やチェーン店はやっているが、台湾のお店は閉まっており駅も夜 12 時を過ぎると暗くなっており人の気配が無い状態だった。

26.お昼ご飯に牛肉面と餃子を食べた。その後台北駅周辺のお寺や記念碑を見た。足つぼマッサージは痛いのが割で気持ちいいが1割。泣きそうになった。その後夜市に行きみんなで酔いまくった。次の日は九扮に行き、千と千尋の神隠しを感じてきた。景色が本当にすばらしかった。

学生プレゼンに対しての感想

1. 各チームがとても工夫を凝らしてすごかった。縦にテーマを書いていたチーム④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」は説明はよくわからなかったが、型にはまらない方法でとても良かった。また、場所や人称で引き込んでいたチームはすごくテーマ自体を凝っていて素晴らしかった。
2. 私が印象に残ったキャッチコピーは④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」と⑥班「飛行機より自由に、リゾートより手軽に、週末海ごと旅しよう」だ。前者は、普段眺めている時間の多いスマートフォンではなく、クルーズでゆっくり

するからこそ見る事ができる水平線を押し出しているのが素敵だった。また、実際に船上を思い出すと、水平線のイメージも強いので、クルーズの良いところを反映していると思った。後者は、私もクルーズ旅行を経験してみて、共感できると思えるキャッチコピーだった。自由で手軽でゆっくりできる旅であることが伝わってきた。

3. プレゼン企画ではかなり有意義な発表が聞け、新たな知見やアイデアを学ぶことができた。またスポーツイベントでは多くの他大学の学生とかかわりを持つことができた。以前のクルーズではあまり他の大学の学生とかかわりを持つことができなかったのも、非常にうれしかった。
4. 最近トレンドにもなったふくろうのミームを取り上げた班②班「えっほえっほ クルーズ船もあるって伝えなきゃ」と、あえての縦書きでインパクトを残した班④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」が個人的には印象に残った。前者については若い世代の大衆の目を容易に引きやすそうだと感じたし、後者に関しては実際のポスターまで目に浮かんでくるような印象を得た。
5. キャッチコピー作成にあたって、他大学の学生と協働し、仲良くなることができ、いい思い出になった。印象に残ったキャッチコピーは④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」と⑥班「飛行機より自由にリゾートよち手軽に週末海ごと旅しよう!」だ。前者は単に SNS に着目するだけでなく、SNS の TikTok や YouTube shorts などスクロールするコンテンツに対象が限定している点が勉強になった。後者は大学生が選ぶ他の選択肢を比較した上でクルーズの魅力を伝えている点が勉強になった。
6. 全体の感想としては、マーケティングの良い勉強になったなというものがある。どうすれば絞ったターゲットに効率的に伝えられるかの良い勉強の機会になった。印象に残ったものは、流行に乗った②班と斬新な対比を用いた④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」だった。それぞれどういったことをしたらよく見られるのかを徹底して考えられていたと思う。
7. クルーズに乗ったことのない若者に対するプロモーションというテーマでキャッチコピーを考えた。そういったクリエイティブな題材は久しく取り組んだことがなく、ほかのチームメンバーもそうであったので非常に楽しく取り組むことが出来た。他班の発表内容は忘れてしまった。
8. 今回は色々な大学が入り混じったチームで乗船後に集まって考える必要があったが、通信手段が限られた船内で全員が集合することは難しく、乗船前に準備ができる形式の方がいいのではと考えた。他班の発表では、紙を縦向きに使ったり、言葉遊び的な技法を使っているものが印象に残っている。

9. クルーズには魅力が詰まっている分、魅力をキャッチコピーとして一言で表すという点に難しさを感じた。電子媒体の使用頻度が減少することで、現実から離れて夢中になれる点、移動から旅行自体までを完結させることができる点を魅力として取り上げているチームが多いと感じた。その点で、紙を縦向きに利用し水平線とスクロールをかけていたチームと、船の上が全部フォトスポットであるというキャッチコピーを考えていたチームは、斬新なアイデアと明瞭な根拠を持っており印象に残った。
10. 学生プレゼン企画は、どのチームも工夫を凝らした発表内容で、とても見応えがあった。短い時間の中で、それぞれのテーマを分かりやすく伝えようとしている姿勢が伝わってきて、全体として質の高いプレゼンだったと感じる。中でも印象に残ったのは、最後のチームで、観光地を「映えスポット」として紹介するキャッチコピーがユニークで心に残った。また、資料や話し方も整理されていて聞きやすく、完成度が高かった。
11. おそらく各チーム課題に対して取り組んだ時間は短かったと思うが、堂々と発表を行っている姿に感動した。④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」というスローガンはスマホを見がちな日常生活から脱してクルーズに乗り出すというメッセージが響いた。「船の上全部フォトスポット」は写真を撮ることが今回のクルーズの目的の一つであった私には説得力のあるスローガンであった。
12. 個人的に印象に残った2つのキャッチコピーは、①班「船の上ぜんぶフォトスポット」と④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」である。前者のキャッチコピーは写真の映えを狙う若年層にとっては効果的だと思われ、一方で後者のキャッチコピーは現代のデジタル社会から一時的に離れる環境としてクルーズが非常に良いということをアピールできるように思われたためである。全体的な感想としては、どの班も私が乗船前に聞いていればクルーズを魅力的に感じられるようなキャッチコピーを提示していたように思われ、良いキャッチコピーがたくさんあったように思われた。
13. それぞれのチームでプレゼンのやり方に個性が出ていて面白かった。印象に残ったのは②班「えっほえっほ、クルーズ船もあるって伝えなきゃ」と③班「次はあなたが海の上の主演、いつもと違う大人の私に」の発表だった。前者はいつもおとなしい同期が「えっほ」の役をやっていたので、後者はプレゼンの進め方がきちんと組み立てられていて情報量が特に多かったように感じたので、印象に残った。
14. "学生プレゼン企画は、他の学生が真剣に取り組んできたテーマを共有する場として、とても刺激的な時間になる。多様な視点でクルーズや観光業について語られ、自分では思いつかないような発見や気づきが得られた。中でも印象に残った

のは、クルーズの環境負荷とサステナビリティについてプレゼンしたチーム。データをもとにした話が説得力を持っていて、「自分たちの旅がどう環境に影響しているのか」を考えるきっかけになる。もう一つは、若者のクルーズ離れに関する発表。SNS 戦略やインフルエンサー活用など、具体的な提案が面白くて、自分も発信する立場として興味を持った。全体を通して、自分の意見を持つことの大切さや、発表する力の必要性を実感する。聞くだけで終わらず、考えるきっかけがたくさん得られた。"

15. 学生プレゼン企画は、若者ならではの視点と発想が感じられ、非常に刺激的であった。特に印象に残ったのは、持続可能な観光や環境問題に関する提案であり、クルーズの未来について考える良い機会となった。プレゼンの構成や発表態度も堂々としており、完成度が高かった。

16.2 日目午前の学生プレゼン企画は、若い視点ならではの斬新なアイデアや熱意が感じられ、とても刺激的な時間だった。全体を通して活気があり、参加者同士の交流も深まる良い機会となった。またあまり思いつかない案も出て勉強になった。

17. クルーズ船のキャッチコピーを考えるということでアイデア勝負みたいなところがあり、簡単なようで難しかったが、チームメンバーと話す中でいろんな面白いアイデアがでるのは面白かった。私が印象に残っている 2 チームは、①班「船の上ゼンぶフォトスポット」と④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」である。フォトスポットのチームは事前準備に非常に力を入れており、ターゲットを明確にしていたり、アイデアに根拠を持たせていたために聞き手によく刺さりやすいキャッチコピーになっておりすごいと思った。水平線に関しては実際にクルーズ船にのって水平線にみとれてしまう自分がいたのでそこにすごい共感できた。

18. 「船の上ゼンぶフォトスポット」と「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」は印象に残った。前者は実際、船内は全て映えスポットとしてたくさん写真を撮る機会があった。後者は客室やラウンジから見える水平線は圧巻でスマホを見る余裕がなかった。

19. 印象に残ったチームは最近はやりのネットミームを使っていた班と自分たちの班である。ネットミームを使っていた班は、おそらく先生達がネットミームを知っているのかわからない状態で頑張っていたと思う。自分たちの班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」は優勝させてもらえたので選出した。キャッチコピーのセンスや語感が完璧だったのでこのキャッチコピーの素晴らしさをしっかりと伝えることができれば優勝するだろうとおもっていたので、なんとか勝てて良かった。

20. 全体としては、論文大会でライバルとなるような方々の発表を聞くことができたの

は非常によかった。印象に残っているのは②班「えっほえっほ クルーズ船もあるって伝えなきゃ」の発表である、ほぼ初対面であるはずなのにチームの雰囲気は非常によい雰囲気であるように感じた。また、④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」の発表はほかの班に比べてもクオリティが高かったように感じた。教授陣からの質問にも的確に答えているような印象を受けた。

21.正直、今回のプレゼン大会に対してはテーマが明らかにされた時点から「なんか...すぐ終わりそう...」と思っていた。だからこそ事前に準備して、徹底的に調べつくそうというのが私個人としての思いがあった。私たちの提案②班「船の上ぜんぶフォトスポット」は 2 位で思ったよりも良い結果であり、ラッキーだった。印象に残ったチームは我々とスクロールチームだ。各チームのキャッチコピーに対する考え方などを見ることができて面白かった。

22.他大学の方と一緒にプレゼンする機会はなかなかないので、とてもありがたい機会だった。ただ、そこまで深く交流することができなかったのが少し残念だった。時間がないのは承知だが、もう少し事前に話し合いの時間を作ったり、船内でも交流ができたなら良かったと感じる。印象に残っているのは一位だった④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」と、えっほえっほを使っていた 2 位の②班だ。④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」が一番キャッチコピーらしく、インスピレーションを受ける良い発表だった。②班「えっほえっほ クルーズ船もあるって伝えなきゃ」は「えっほえっほ」という流行を取り入れていたが、発表中の皆さんの息があっていたのがとても印象的だった。

23.学生プレゼン企画 2 日目午前では、どのチームも魅力を引き出すキャッチコピーを工夫しており、言葉の力を改めて実感した。自分たちは、ジャストアイデアすぎたがしっかり準備している班もいて刺激的な時間になった。発想力と表現力の大切さを学ぶ貴重な機会となった。

24.キャッチコピーを仕事で作っている人は、100 個ぐらい作ってその中から選んでいることを聞いて、そのような体験をしながらキャッチコピーを考えたいと思ったので、一人 3 つ考えて全部で 12 個から選ぶという決め方をした。直接的な表現を使わずに、若者にクルーズに乗ってほしい思いを伝えるにはどうしたらいいのかを、論点に話し合いを進めることが難しかった。「移動中なのに一番楽しい」というキャッチコピーの、移動も旅の 1 つであるという魅力を伝えたいという願いが伝わってきた。「船の上ぜんぶ、フォトスポット」は SNS 映えを重視する若者に焦点を当てていて、忘れられない思い出を残すことができるという願いが込められているのが印象に残った。

25.全体として正直もう少しグダる感じになるかなと思ったけど、タイトルに込めた思

いを伝えるためによく考えてきたことが伝わるプレゼンだった。やはり、上位 2 チーム(④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」②班「えっほえっほ クルーズ船もあるって伝えなきゃ」)が印象に残っていて、タイトルと伝えたいことの言葉の意味の掛け合いがとても上手かった。これから先、参考にしたいと思うほどだった

26.印象に残っているのはやはり自分のチーム③班「次はあなたが海の上の主演、いつもと違う大人の私に」だ。理由は海の上の主演というワードセンスと、少し恥ずかしい言葉をあえてみんなに伝えたからだ。二つ目は水平線のチーム④班「夢中になるのはスクロールじゃなくて水平線」である。あのチームは人に興味を持ってもらえるような話し方であり、惹かれた。どのチームからも色々なことが吸収できたが、取り上げるとするならばこの二つのチームだ。

クルーとの意見交換に対しての感想

1. クルーの英語はとてもわかりやすく、何を言っているのかよく分かった。クルーの仕事内容や生活の仕方などあまり知ることでできない情報を聞けて、とても有意義な時間だった。また、質問内容が事前に用意されており、質問もしやすかった。
2. クルーズ船に就職するという選択肢を持っていなかったもので、聞くことすべてがとても新鮮だった。今回お話をお聞きしたようなマネージャーの地位にある人でも、1 つの船で働き続けるのではなく、様々な船で業務を行うと聞いて驚いた。そのような業務形態でスムーズな船内運営を行うためには、情報交換やクルー同士でのコミュニケーションが大事になるのだろうと思った。実際に、クルーや乗客と交流するために英語の知識はもちろん、他の言語も習得しておく方がいいとおっしゃっていて、勉強も学びも多い職種であることがよくわかった。
3. クルーの中でも上層部の方から貴重なお話を聞くことができた。清掃や給仕を行うクルーの方のほうが労働時間が長いイメージがあったが、上層部、管理職のクルーの方もかなりの長時間労働されていると聞いて、改めてクルーの皆さんのおかげで快適で安全な船内の生活が作られているのだと感じた。
4. 毎度クルーの方たちとの交流会で感銘を受ける点として挙げられるのが、自分がしている仕事に対して高いプライドをもって取り組んでいる姿だ。日本では自ら進んで昇進の意欲を述べようとする人は比較的少ないように感じるが、クルーの方たちは、このポジションを目指しているというキャリアステップも明確

でその熱意が更に伝わる。

5. 私は現在就職活動をしていて様々な業界の働き方に関心がある。普段クルーズでの働き方に触れる機会はないので大変刺激的だった。特に家に帰る頻度が数カ月に一回という働き方がプライベートの生活との両立が大変だと感じた。
6. 貴重なお話をたくさん聞くことができた。特に、帰省できる頻度や睡眠時間等のお話が印象に残っている。船の上での生活は結構過酷なものを想像していたが、実際にお話を聞いたらしっかり休めているとおっしゃっていたので安心した。
7. 常に海の上でお仕事をされているとのこと、どのような生活を送っているのか興味があった。印象に残っているお話として、一つのクルーズ船に乗り続けるのではなく、様々な船を乗り換えていること、執務上のポジションは固定で、担当する人員が入れ替わることだった。客船のクルーになるにはどのようなプロセスが必要なのか知りたい。
8. 私たちが日本人であることを理解し、易しい英語でゆっくりと説明してもらった事が印象に残っている。お話の中でも、船にはいろいろな国からお客さんが乗ってくることを理解し、そこに見合ったサービスを提供したいという気持ちが伝わってきた。60か国以上のクルーが狭い船内で仕事をしているという状況は、どんな企業よりもグローバルなのではないかと思った。
9. 普段業務内容やクルーのバックグラウンドを知る機会がなかったため、大変貴重な時間だった。朝から晩まで質の良いサービスを提供していることから、勝手に長時間働いているという想像をしていたが、一日のスケジュールや雇用形態を聞くことができてクルーズに関する知識や理解がより深まったように感じる。
10. 意見交換でお会いしたクルーは、複数の言語を話せる方で、本当にすごいと感じた。こちらの質問にも丁寧に答えてくれて、仕事内容や働き方、船での生活について詳しく知ることができたのがとても興味深かった。普段は接客している姿しか見られないけれど、こうして直接話をする事で、裏側での努力や思いが伝わってきて、より一層尊敬の気持ちが湧いた。
11. クルーとの意見交換では自身の英語力不足を痛感させられた。内容に関しては、クルーの方も常にサービス向上に邁進しているということに感動した。いくつかの国の言語を習得し、お客さんとコミュニケーションをとろうとする姿は、目的や手段は違えど、私も取り入れるべき考え方だと思う。
12. 実際に働いているクルーの方と交流する機会はなかなかないので貴重な機会

が得られたと感じた。特に休暇などをどのように過ごしているのかに関する質問はなかなか興味深いと感じた。また世界中を航海する船というだけあってクルーの方は様々な言語を話せるのでであろうと予測はしていたものの、話せる言語の数に関する回答は思っていた以上に多く驚いた。

13. すこし失礼かもしれないが、想像していたよりもかなり階級の高そうなクルーが来てくださったので驚いた。とても分かりやすい英語で話してくださったので、聞き取りもそこまで苦労しなかった。業務時間は決まっていると言っていたが、休憩のために船以外の場所に移動することはできないと思うので、結局船にいる間は休憩時間であっても気が休まらなさそうだなと思った。

14. クルーとの意見交換は、普段はなかなか聞けない「働く側の本音」に触れる貴重な機会になった。世界中から集まったクルーたちが、それぞれ異なる背景や理由でこの船に乗って働いていることを知り、人との違いを受け入れる大切さを学んだ。あるクルーは「家族のために遠く離れた場所で仕事をしている」と語り、その強い意志に感動した。日本とは違う労働環境や文化に触れることで、自分の価値観も広がった。英語があまり得意ではないけれど、ジェスチャーや簡単な単語でコミュニケーションができたことが嬉しい。クルーの皆さんもとてもフレンドリーで、こちらの話をしっかり聞いてくれた。観光客としてだけでなく、船の“生活の一部”を知ることで、クルーズという空間の見方が変わる貴重な体験になった。

15. クルーとの意見交換会では、現場で働く人々のリアルな声を聞くことができ、クルーズ運営の裏側を知る貴重な時間であった。質問に対して誠実に回答してくれたことで、乗客とクルーとの距離が縮まり、より親近感を覚えた。今後も継続して実施してほしい企画である。

16. 3日目午前のクルーとの意見交換は、普段は見えない船の裏側や運営の工夫を直接聞ける貴重な機会だった。クルーの誠実で熱意ある対応に感心し、サービスの質が高い理由がよく理解できた。質問にも丁寧に答えてくれ、乗客との距離がぐっと近くなったように感じる。

17. 特に印象に残っているのは、クルーのお休み事情である。クルーの方は休みをちょこちょことれるわけではなく、まとめてとるような感じであるので長期間家族に会えなかったりすると聞き、大変なお仕事であると実感した。しかし、クルーの方のプロ意識のようなものも感じられて、いい機会となった。

18. クルーとの交流を通してクルーズ船内の仕事やクルーの船上での生活など身近でない貴重なお話を聞くことができ非常に有意義な時間だった。クルーズに乗って少しクルーの仕事に興味を持ったので、今後観光産業にかかわること

があれば、この経験をつなげていきたいと思った。

19.3 日目午前のクルーとの意見交換では、英語での質問にも丁寧に対応していただき、非常に有意義な時間になった。こちらの疑問や関心に対して、実体験を交えながらわかりやすく答えてくれた。クルーの皆さんのプロ意識と親しみやすさに感動し、船内生活への理解も深まった。自分も質問を一個だけしたが丁寧に回答していただけてうれしかった。

20.クルーの方は、自身の持ち場で最高のサービスを提供しようとするプロフェSSIONナリズムに溢れていた。意見交換の場でも、乗客からの厳しい意見に対しては耳を傾け、時にはジョークを交えながら、和やかな雰囲気を作り出していた。彼らが単に業務をこなすだけでなく、クルーズという特別な体験を乗客に提供することに情熱を燃やしているのが伝わってきて、さらにクルーズ船での時間が特別なものを感じられた。

21.割と英語聞き取れるなあ、とまず感じた。これまでのキャリアや考え方など普段は絶対に聞くことができないし、これまで全くと言って良い程関わってこなかった業界だった。おそらくお話されたことと聞き取ったことに違いはあるが、未知の世界をちょっとだけ垣間見ることのできる良い機会となった。ありがとうございました。

22.残念ながらすべてを理解して聞き取ることができなかったのも、ぼんやりとした解釈しかできなかったが、普段聞くことができないクルーのお仕事について知ることができてとても興味深かった。特に休暇については、年に数回二か月ほどの長期の休暇があるとのこと、通常とは違う働き方でとても印象に残っている。

23.クルーとの意見交換では、阪大生の英語力の高さに改めて驚かされました。流暢にコミュニケーションをとる姿はとても頼もしく感じました。一方で、山口大学の生徒たちも積極的にチャレンジしようとする姿勢が印象的で、英語が完璧でなくても意欲が大切だと実感しました。この交流を通じて、自分ももっと英語力を伸ばし、積極的に発言していきたいと思いました。

24.英語に自信がなくて自分の言葉で質問ができなかったことが心残りだったが、クルーとしてのやりがいや勤務形態を聞くことができて、有意義な時間だった。異なる国のクルーがたくさんいるので、お客様だけでなくクルーに対してもホスピタリティをもってコミュニケーションを取っているという話が印象に残った。

25.普段関わる事すら出来ないような人との交流はとても良い経験になった。分かりやすい英語を冗談めかして話してくれるため勉強になる事だけでなく、会話を楽しむ事さえ出来た。しかし、聞き取れない事も多々あったのでもっと語学

力を身につけたいと再確認した。

26.正直、皆さんの英語能力に驚いた。たまに聞こえるワードはあるが意味は分からない。クルーの回答でみんなが笑っているが、僕は笑っていない。やっぱり英語はある程度できたほうがカッコいいと感じた。カジノの英語だけは何となく聞き取れた。

スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望

【スポーツ交流会（増え鬼）、プレゼン大会、フォーマルナイトなど】

1. スポーツ大会は前回のコスタと比べて人が少なかったのも、とても楽しむことができた。プレゼンは船内で完結するもので、作業時間が長くならず、良かった。フォーマルナイトはいつも通り、とてもかっこよく着飾ることができて、良い時間だった。
2. プレゼン大会は3日目か2日目の午後の方が嬉しかったなと思った。キャッチコピーの作成を考えると1日目の夕方にはすべてをまとめ切る必要があった。初めてクルーズに乗るのに、クルーズの魅力を体験できるのは数時間で、そこからキャッチコピーを考えるのは少し無理がある気がした。クルーズ学会の冊子に載せるぐらいしっかり考えないといけないのなら、もう少し時間が欲しかったなと思う。
3. ゼミでクルーズに参加することの醍醐味の一つに他大学の方との交流を深める貴重な体験ができるという点にあると考えている。今回はなかったが、前回のクルーズのように、地方自治体の方と関わる機会がより多くあれば、貴重な学びの機会になると考える。
4. スポーツ大会やプレゼン大会は普段交流できないような他大学の学生や他大学の教授方と交流できる良い機会だと感じている。フォーマルナイトはクルーズの豪華な部分を味わう最高の機会だと感じており、船としてはなくても勝手にフォーマルナイトしてくださるのでありがたい。
5. イベントがあったことで3日間の船上生活も飽きることなく過ごせた。プレゼン大会やスポーツ交流会では他大学の学生と仲を深める機会になった。フォーマルナイトではゼミ生のフォーマルな恰好を見ることができ、非日常感が増した。また、スワロフスキーの階段などクルーズの豪華さにあったフォーマルな衣装で全員で写真を取れてよかった。
6. 企画全般の感想としてはとても満足度の高いものだった。スポーツ大会に関しては、もう少し体全体を存分に動かせるようなものを要望として書かせていただき

たい。その他の企画に関してはとても良かったと思う。個人的にはフォーマルナイトでのみんなのスーツ姿が非常に眼福だった。

7. スポーツ大会は果たして必要なのかと疑問だった。親睦を深めるという目的に今回一番貢献したのはディナーの席だと個人的に思った。そこで一緒にご飯を食べて、この後カジノ行こう!とかバー行こう!みたいな会話が生まれたからだ。コートも狭く鬼ごっこには適していなかったと思う。フットサルはどうでしょうか。チームプレーだし、未経験の人でも活躍しやすい球技だと思う。
8. 今回、スポーツ大会が乗船後すぐに行われたが、翌日以降でもよかったのではないかと思った。乗船前にターミナルで預けた荷物が部屋に届くのが夜になる可能性もあったため、運動着を荷物から取り出しておく必要が生じるなど少し不便を感じた。フォーマルナイトについては、今回船の企画ではなく、勝手に行ったが、非常に印象に残っていて貴重な機会だった。スーツやドレスを着て撮った写真は旅行を象徴するものとなったように思う。
9. 今回参加した学生が少人数であったことも一因かもしれないが、スポーツ大会が一日目に開催された分、他大学の学生との交流の時間をもつことができ、親睦が深められた。プレゼン大会においても、一つのチームとして課題に取り組むという行為はより仲を深められた機会であると感じたので、次回以降もあるとうれしいと感じた。フォーマルナイトがとても楽しかったため、毎晩何かしらのイベントを開催するのも良いのではないかと考えた。
10. どれも学生同士の交流を深める良い機会になり、とても楽しかった。前回はスペースが十分でなかったけれど、今回は広くてちゃんとした場所でスポーツ交流会が開催され、全力で楽しめたうえにチームが優勝してジェラートを食べられたのが嬉しかった。プレゼン大会やフォーマルナイトも、それぞれの個性が出てよかった。
11. スポーツ大会は協力する要素があり、一緒に楽しむことで親交を深めることができたと感じている。プレゼン大会では準備が限られる中、発表の技術や発声など多くの点で参考になった。フォーマルナイトは普段目にするものがないゼミの仲間や先輩たちの装いを見ることができ、新鮮で楽しかった。
12. バナナ鬼に関しては楽しく感じた。個人的には機会があれば他のスポーツもいろいろできればいいなと感じた。プレゼン大会に関しては様々な意見が出て興味深いと感じた。詳細は質問16にて記述済。フォーマルナイトに関してはなかなかみんなまで揃ってフォーマルの服を着る機会はないので、いい機会になったと感じた。
13. 普段の大学生活では絶対に交流することができないであろう全国各地の大学の学生と話すことができて楽しかった。企画がなければ、船内では大学ごとに行動

することの方が多く、話す機会もあまりなかったかなと思うので、企画の存在はありがたかった。スポーツ交流会はもう少し広い場所でできたらもっと楽しかったと思う。

14. スポーツ交流会、プレゼン大会、フォーマルナイトなど、スマートクルーズアカデミーの企画はどれも個性的で、旅の楽しさを何倍にもしてくれる。特にバナナ鬼は、言葉が通じなくても体を使って交流できる貴重な機会、海外の学生とも自然と仲良くなれる。プレゼン大会は学びの場であると同時に、発表する力や聴く力を伸ばせる場でもあり、準備してきた努力が報われる瞬間でもある。フォーマルナイトでは普段着ないような服を着て、大人の雰囲気味わえるのが新鮮で楽しい。こういったイベントがあることで、船内生活にリズムができ、毎日が特別なものになる。今後は、事前の説明会をもう少し充実させたり、参加型のワークショップなども加わると、さらに多くの人が積極的に関わられるようになると思う。
15. スポーツ交流会やプレゼン大会、マルチイベントを通じて、多様な交流の場が提供されていたことは大変意義深いことである。参加者の積極性が引き出される構成であり、主体的な関わりを促す企画であった。今後はさらに他国の学生との協働要素を加えることで、国際的な学びの場としての可能性が広がると期待する。
16. スマートクルーズアカデミーの企画は、多彩なプログラムが用意されていて参加者同士の交流が深まる楽しい時間だった。スポーツ交流会のバナナ鬼は面白く、プレゼン大会やフォーマルナイトも充実していて満足度が高い。今後はもう少しイベントを増やすことも賛成だ。
17. プレゼン大会のグループがいろんな大学の学生で構成されていたので、同じ大学だけでなく他大学の方ともしっかり交流でき、ダンスパーティーなど他のイベントも一緒に楽しめたのが魅力であると感じた。フォーマルナイトが船内全体ではなく私たちだけだったのが少し残念ではあったが、ドレスを着る機会などほとんどなく船内のゴージャスな背景の中で写真をたくさん撮り、思い出を作れたのは非常に楽しかった。他大学との仲が深まったのがけっこう終盤だったので、最初に何かもっとできたらいいのかなとは思った。
18. バナナ鬼は他大学の人とたくさんは交流できるアイスブレイクとして船上でのアクティビティにつながる非常に良い交流だった。プレゼン大会はグループごとの味が出ていて面白かった。フォーマルナイトは普段と違って高めのコースディナーを食べた感覚になった。
19. スマートクルーズアカデミーの企画はどれも魅力的で、特にスポーツ交流会ではバナナ鬼を通して自然と仲良くなれた。終わった後喉が渇きすぎたので水が用意してあったら、なおうれしかった。プレゼン大会は参加者の個性が光り、刺激を受

けました。みんな場数を踏んでいると感じた。フォーマルナイトも非日常を味わえる素敵な時間だった。

20.クルーズという旅の多様な側面を深く体験し、多くの気づきを得ることができた。

特に、参加者間の交流を促進する企画と、非日常感を演出するフォーマルナイトは、アカデミーの大きな魅力だった。しかし、他大学との交流の場がどうしても少なかったように感じた。最終的に非常に仲良く活動できたものの、事前に何らかの交流ができていればなおよかったとも感じた。

21.歳なのか、スポーツ大会は非常に疲れた。最終的にはジェラートを食べることができたので結果オーライである。プレゼン大会でもジェラートゲット出来て万々歳だ。フォーマルナイトなどなどクルーズだからこそ経験できるものもあれば、プレゼン大会など普段からやっているようなこともあった。だが、場所が違えばまるでやっていることも異なる、そんな風に思う企画だった。

22.スポーツ交流会は、最初に他大学の方との交流の場で、一緒にスポーツをすることで距離を縮める良い時間だった。プレゼン大会とは違うグループ編成だったが、プレゼンでの交流が少なかったのも、同じチームでもよかったなと思った。乗船してから初めましての方がほとんどで、あまり深い交流ができなかったのも、スマートクルーズアカデミーに参加する方々で、事前に一度顔合わせの時間（zoom など）があってもいいのではと思った。

23.スマートクルーズアカデミーの企画全般は、とても充実していて楽しかったです。特にスポーツ交流会のバナナ鬼を最初のほうに行ったことで、参加者同士が早く打ち解けられたのが良かったと思います。プレゼン大会やフォーマルナイトも盛り上がり、思い出に残る時間になりました。今回は特に改善点や要望はありませんが、今後もこのような多彩な企画を続けてほしいです。

24.スポーツ交流会を通して話せる人が増えたので、このような機会があってよかった。また、バスケやサッカーではなく、バナナ鬼だったのであまり運動に自信がなくてもみんなが楽しめる交流会だったと思う。プレゼン大会では、事前に LINE グループを作って話し合いを進められたので、円滑にキャッチフレーズを決めることができた。話し合いも通してグループメンバーとの仲を深めることができた。フォーマルナイトはこういう機会の醍醐味なので、これからも続いてほしい。

25.バナナ鬼は少しどうかと思った。楽しかったが、せっかく身体を動かすのならバスケットボールやサッカーなどが望ましかった。プレゼン大会ではああいう場で学習というよりも社会に出てからの活用法として使えるため、良い企画だったのではと思う。

26.鬼ごっこを久々にやったが少し恥ずかしかった。小学生の頃はあんなにやってた

のに。しかしスポーツ会自体は新鮮で新たな出会いを感じることが出来た。フォーマルナイトではスーツを着たまま食事をしたり、ショーを見に行ったりしたのは少し大人になった気分だった。

クルーズの社会的意義と乗船客のニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点

1. クルーズは地域振興という面でとても意義のある産業であるといつも感じている。今回は寄港地がなかったが、いつもであれば行かないようなところに行き、緩みまくったお財布で買い物するので、地方からすればとても大きいと思う。若者を取り込むためにはもっと夜のエンターテインメントを充実させた方が良くと思った。
2. 今回のクルーズ旅行は寄港地が台湾だけであったが、一般的には寄港地が複数個あるイメージを持っている。そのうちのいくつか、沿岸の地方都市を選ぶことはその地域の活性化に寄与すると思った。一度に 5000 人規模の観光客を誘致できるのは、他の移動手段には見られない利点であると思う。私たちの視点から見ても、船で様々な地方都市に行き、数時間の観光を楽しむことは魅力的であると思う。
3. クルーズというとお金持ちの人が楽しむものというイメージがある。ブランドイメージも必要であるが、日本でクルーズの需要を拡大するためにはクルーズが他の観光と同じように体験できるものであるということを多くの人に知ってもらうことから始めなければならないと思う。
4. 近年円安・物価高が進む中で卒業旅行や在学中の友人との旅行先に悩む学生が多い中、食事代・移動費・アクティビティ代すべて込で考えると安いというアプローチなら刺さるのではないかと考えた。学生だけの人口はそう多くないが、将来の持続的な顧客になる可能性も十分にあるのではないかと考えられる。
5. クルーズには寄港地がある国同士での関係強化につながるという社会的意義があると感じる。今回の出航地であった東京には多くの台湾人が観光・滞在したと想像されるし、寄港地の台湾では私たち日本人が台湾を観光した。クルーズに乗っていた日本人は台湾を、台湾人は日本を観光・滞在し、魅力を発見するという寄港地同士のつながりを強化するという意義があると感じた。クルーズ振興においては日本人の乗客をもっと増やしたいという個人的な考えがある。今回のベリッシマは飛鳥のように完全に日本人向けになっているものではないが、それにしても日本人は少ないと感じた。日本人向けのクルーズは高いという印象が強く、その印象がベリッシマのような船にも引き継がれることで日本人の乗船の意欲が低下しているのではないかと考える。完全には日本人向けでなくても、比較的安

価に充実した移動を楽しめる手段としてクルーズの魅力が伝わってほしい。

6. クルーズは、地域経済の活性化や国際交流の促進といった社会的意義を持つ観光資源であり、特に寄港地での消費や文化体験を通じて地方創生にも寄与する。今後の振興には、若い世代のライフスタイルに寄り添った柔軟なサービス設計や SNS 映えを意識した企画が求められる。学生や若手社会人をターゲットに、手軽で短期間のクルーズ体験や学び・交流を融合させたテーマ型クルーズの導入が有効だろうと思う。
7. クルーズは旅行の形態として選択肢にも入っていないのが現状だと思う。まずはクルーズについている先入観を打破する必要がある。考えられるのは、やはり料金が安いことである。しかし移動費、宿泊費、遊興費、飲食費が含まれていると考えればそうでもない。カジノですべてを取り返せる可能性だってある。
8. 今回の旅行を通して、学生や若者の団体旅行としてのクルーズ船というあり方に魅力を感じた。もちろん費用は高いが、オールインクルーシブで非日常な空間や体験を共有できることや、イベントや寄港地などが決められているパック旅行のような要素があることなど、団体で過ごすことによって一番楽しめるのではないかと考えた。
9. クルーズは、友人同士というよりも家族で乗船するというイメージが強い。船内でゆったり過ごすことが醍醐味であるという一般的な印象が大きく影響していると考えられる。実際に、クルーズには体験型イベントがあり飽きさせないようなスケジューリングにはなっているものの、一部のゲームやパーティー以外はゆったりと時間を過ごすように設計されているように感じる。若者は移動よりも体験や SNS 映えを重視する傾向にあるため、若者や友人旅行限定のパッケージを作り、体験型イベントを増やしてそこに焦点を当てて PR・発信することで若者により注目され結果としてクルーズ振興につながるのではないかと考える。
10. クルーズは高齢者の旅というイメージが根強いが、実際には若者にとっても非日常を体験できる貴重な空間であり、多国籍な交流や文化体験が可能な「動く国際社会」として機能していると感じる。若い世代へのアプローチとしては、SNS 映えするスポットやエンタメ要素の強化、学生割引や短期プランの充実など、気軽に参加できる仕組みづくりが必要だと考える。実際に乗ってみるとその魅力に気づく人が多いと思うので、まずは体験のハードルを下げるのがクルーズ振興の鍵になると思う。
11. クルーズの社会的意義の一つにタイパやコスパが重視されるようになってきている現代において目的地まで贅沢に時間を使うということがあるのではないだろうか。クルーズ振興のあり方については先に述べた意義に沿うと、タイパ、コス

パを重視する若い世代にアプローチするべきであり、時間を贅沢に利用し羽を伸ばすという点やその世代にとって魅力的なフォトジェニックなスポットやパーティなどのイベントをより広報すべきではないかと思う。

12. クルーズに乗ることによって、日本ではあまり味わうことのできない様々な文化を味わったり、海の上という普段とは違う環境下で過ごしたり、何より様々なイベントなどを通じて周囲の人たちとの交友を深めることができるという点において社会的意義があると感じられる。クルーズ振興としては楽しいイベントや施設を大々的にアピールすることが効果的なのではと感じられる。
13. 思っているよりも同年代との団体旅行に向いているなと感じたので、その点を強調しても良いのではないかと思った。ご高齢の方が多かったが、私の場合は自分が高齢になったときにあんなにアクティブに船内で過ごせる気がないので、若いうちに経験しておいた方がいいという点も推せるのではないかと思った。
14. クルーズは観光だけでなく、地域経済や国際交流の場としても重要な意味を持つ。港が活性化し、地元産業とのつながりが生まれる。若者として感じるのは、「クルーズ＝高齢者向け」という固定観念がまだ強いこと。SNS や動画などでの発信を通して、もっと若者に合った魅力を伝える工夫が必要だと思う。例えば、インスタ映えスポットの紹介や、若者が楽しめるアクティビティの特集などがあれば、ハードルはぐっと下がる。また、学生向けの割引や短期間の体験型クルーズなど、導入のきっかけとなる仕掛けも重要。今回の体験を通して、「こんなに楽しいならもっと多くの人に知ってほしい」と感じている。クルーズはまだ知られていない“可能性”のかたまりで、それを広める役割を若者が担えると信じている。
15. クルーズは単なる娯楽ではなく、異文化理解や環境問題の学びの場としての側面を有している。特に若い世代に対しては、グローバルな視野を育む手段として大きな可能性がある。SNS を通じた情報発信や、学生向けプログラムの拡充により、より多くの若者が関心を持つようになると思う。
16. クルーズは地域経済の活性化や国際交流の促進に大きな役割を果たしており、観光産業の重要な柱となっている。若い世代の視点から見ると、多様な体験や SNS 映えするアクティビティの提供がニーズの掘り起こしに欠かせない。環境への配慮や手軽さを重視したプランを増やすことで、より多くの若者が興味を持ち参加しやすくなるはずだと思った。
17. クルーズ船の社会的意義は手軽な国際交流だと考える。海外に行く際の困難な点のひとつに移動があると思うが、クルーズ船はたとえ日本にいたとしても船内にいればそこはほぼ海外のような雰囲気、会話も英語でクルーも積極的に話しかけてみんな楽しんでしまうので自分も自然とその輪に参加したくなる

のが大きな魅力であると思う。ダンスパーティーなども国籍関係なくその場にいればみんな踊りだしたくなる雰囲気では決して味わえない体験ばかりである。私は今回ゼミで参加できる機会があったが、多くの大学生にとってクルーズ船はセレブのものといった豪華なイメージが根付いているような気がする。そのような場では、ドレスコードもしっかりあり、少し近づきにく。そのため、ドレスコードを緩和するなどして少しリッチではあるがカジュアルにも楽しめるクルーズ船などもあればいいと思う。大学生の卒業旅行に選んでもらえるような。

18. 社会的意義は寄港地の地域経済の活性化だと考える。若者に向けたニーズでは、クルーズが退屈ではないことを伝える必要があると感じた。私の最初のイメージは船の上はレストランや劇場などしかなく、若者は退屈しがちなものだったが、アクティビティも多く若者が楽しめるものもたくさんあった。
19. クルーズは高齢者向けというイメージが根強い一方で、実際には幅広い世代が楽しめる多様な体験がそろっており、観光振興や地域経済への波及効果も大きく、若い世代にとって一生の思い出になると感じた。若い世代に向けては「非日常」や「SNS 映え」などの魅力を打ち出すことで、興味を引く余地があり、今回のように学生が参加しやすい値段やきっかけがあるといいなと感じた。
20. クルーズは地域活性化、多文化交流、海事文化浸透に貢献する社会的意義があるだろう。若者への振興には、SNS 映えする非日常体験の強調、手軽なショートクルーズ、デジタルを活用した情報発信が不可欠であると考え。特にクルーズ旅行に関して若年世代は想像が付きにくい点が目立つと思うので、実感がわくような宣伝・広告が必要不可欠である。
21. 当初、クルーズに対してはおじさま・おばさまばかりで若者世代とは無縁だと考えていた。しかし、実際に経験してみるとそれらが一転し、比較的身近に感じるようになった。今回は大学のつながりでクルーズに参加することができたが、普通に生きているとそれらを認知する機会は非常に少ないと思う。なので若者世代は「クルーズに参加できない」というよりも「クルーズを知らない」というような感覚な気がするので、それこそ文化祭のように学生や地元民を取り込めるイベントをぜひ行っていただきたい。
22. クルーズの社会的意義は、寄港地への経済効果が挙げられる。クルーズ船が寄港することで、現地で観光消費が生まれ、波及効果が生じる。クルーズは年配の方や家族単位の利用が多く、若い世代の確保のためには、SNS での宣伝や若者の消費傾向（推し、SNS 映え、モノではなく体験や経験を重視する）を押さえたイベントの開催や広告が求められると考える。
23. クルーズは異文化交流や非日常体験を通じて、国際理解や地域経済の活性

化に貢献できる大きな社会的意義を持っています。特に若い世代にとっては、英語や異文化に触れ、自分の可能性を広げる貴重な機会になります。今後は SNS や動画などを活用し、クルーズの魅力をより身近に伝えることで、これまで関心のなかった層へのアプローチができると思います。(実際にストーリーで多くの反応を得ている人がいました。) 学びや成長の場としてのクルーズの価値を発信していくことが、振興につながると感じます。

24. クルーズの強みは次に行きたいところややりたいことをいちいち調べる時間と、重い荷物を持ち歩く手間をなくして、家族や友人と行っても自分のやりたいことを優先してできるところにある。世間では料金が高く、贅沢なイメージがあるが、時間の融通が効く大学生だからこそゆっくり楽しめるコンテンツだと思った。
25. クルーズの社会的意義として、経済的効果と地域を結ぶ橋のような効果が挙げられる。クルーズは移動の時間を楽しむものである。よって、目的地までの移動手段として使うのではなく、ホテルのような宿泊場所と移動を組み合わせた在り方で、同じ長距離移動の飛行機とは別枠で考えるべきだと考える。
26. クルーズの社会的意味は乗るだけで観光している気分になる。そして非日常を味わうことが出来る。さらに加えて、経済を回していることにもつながる。国際交流にもつながる。このことから地域活性化にもつながるのではないかと僕は考える。

クルーズ全般への感想

1. とても楽しかったクルーズだった。一つ学んだことは諦めない心だった。カジノで2日目にタコ負けを経験したが、3日目はそれを取り返し、勝ちに繋げることができたので、負けて萎えるのではなく、次にどう生かすかを考え、そこで勝ちにいくことを考えた。それが功をそうし、とても有意義なカジノライフだった。
2. すごく貴重な経験をできた。このような機会を提供してくださった先生方、ありがとうございます。クルーズ船内でクルーの方と交流するときは、基本英語が多かったので、久しぶりに生の英語に触れる機会になった。やはり、日常生活に結びつく英語が一番難しいなと思った。ちょっとしたことで、適切な伝え方や語彙を知らないせいで、伝えるのに手間取る場面が時折あった。今回の体験で、日常英会話の力をつけれるよう勉強をしようと思った。
3. 今回クルーズに乗って、クルーズごとに違い楽しみ方ができると学び、次回への期待がより高まった。次回のクルーズでは体調管理を万全にして臨みたい。また、今回は自治体の方々とは関わるができなかったもので、次回はお話なども聞けたらと感じた。

4. 次回が学生として乗れる最後のクルーズになるのが寂しい一方、社会人でも友人・家族と一緒に乗り続けたいと感じている。
5. クルーズ全体は非常に満足することができた。そして、クルーズに乗る中で、クルーズ自体ではなく、他のことについての学びもあった。甲板から会場を眺めてみると日本の海運会社の船がたくさん見えて、島国かつ資源小国の日本における海運業の必要性を実感した。また、飛行機よりも遅く、外に出て気温を体感できるクルーズでは移動するにつれて連続的に気温や気候の変化を感じることができた。このように普段触れない環境を体験できるクルーズで、様々な気づきが得られた。
6. 全般の感想としては、最高でした。クルーとの出会いや英語の必要性を強く実感したのはもちろん、一番大きかったのは他大学の生徒や先生との交流の重要性が強く実感できたことである。失敗談としては、もっと多くの催し物に参加して交流を広げたら良かったと思っている。将来への期待としては、もっと多くの大学が参加してより交流を広げられることを期待したい。今回は非常に貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。
7. M 君が赤色のひざ掛けを気に入り、首に巻いて遊んでいたらレストランのウェイターがプレゼントしてくれたのを見て、日本では見られない光景だなと思った。そのような海外気分を気軽に味わえるのがクルーズの魅力であると思う。次は、カジノで今回の負け分も取り返したいと思っている。
8. 今回台湾人が日本から帰国するというタイミングで乗船しており、今後日本の観光振興という点でも大きな役割を果たしていくのだろうという事を改めて感じた。日本国内においては、まだまだ認知されていないように思うが、近畿からは、四国や九州へ行くフェリーが多く出ており、そちらは少しずつ SNS 上で若者の間でも話題になっているように感じる。まずはこのようなフェリーから始めて、船を移動手段として認知してもらうことも大切な一歩なのではないかと考えた。
9. 船内では、外国人クルーや外国人の乗客との交流を楽しむことができた。自ら積極的に関わり話しに行くことは、新たな交流を生み新鮮な経験をもたらしてくれるのだと感じた。カラオケバーで日本の曲を歌った翌日に、同じくその場にいた台湾人に話しかけられ、世間話や台湾のおすすめを聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。高度な英語力は会話において必要ではないが、もっと話したい、と英語の学習意欲を高めてくれるような要素もクルーズにはあると感じた。
10. クルーズ旅行は天候にも恵まれ、青い海と晴れた空の下で素晴らしい体験ができた。船上でのアクティビティや新しい友人との出会いがとても楽しく、貴重な

時間を過ごすことができた。英語でのコミュニケーションにも自信を持って臨むことができ、異なる文化との交流が新たな視野を開いてくれた。将来に向けては、クルーズ業界が持続可能な旅行を推進し、環境に配慮した取り組みを進めてほしいと強く願っている。この旅で得た経験は、私の大学生活における貴重な成長の一環であり、さらに広い世界観を得るきっかけとなったと感じる。

11. 本クルーズは私にとってインターネットから距離を置き、時間と向き合う貴重な体験となった。SNS の喧騒から離脱し、ゼミの仲間と親交を深められたことは忘れられない思い出になった。機会があればまた利用したいと思っている。
12. 今回のクルーズではそこまで難しい英語は使わなかったものの、クルーの方との会話など場面によってはより多様な英語を用いればより楽しめたのではと感じた。将来への期待としては、海外諸国に行くのも楽しそうと感じる一方、小笠原諸島などなかなか行く機会の少ない日本の離島を巡るようなクルーズも興味深そうに思われた。
13. 朝あまり早く起きなかったのも、毎回朝ごはんはビュッフェで急いで食べる羽目になっていた。次回はもう少し朝に余裕を持ちたい。また、ショーなどもあまり予約しなかったのも次回はきちんと予約して夜のショーを一度は観てみたいと思った。全体的にとっても楽しかった一方で、ゼミ旅行として行ったからここまで楽しめたのではないかという面も多かった。家族旅行で行っても自分の家族の場合はここまでたくさんアクティビティに参加したりしないと思うので、同年代の人と来たからこそ楽しむことができたと思う。多少なりとも向き不向きや相性はあると感じた。
14. 今回のクルーズを通して、世界中から集まったクルーと触れ合い、文化や言葉の壁を越えた交流の楽しさを実感した。最初は英語が不安だけど、簡単な会話でも笑顔で返してくれるから、どんどん話したくなった。食事のときや清掃中に少しずつ会話を重ねることで、外国の人とも自然に距離が縮まった。失敗もあるけど、それも全部“旅の醍醐味”として受け止められる。船内の生活は非日常で、いつもとは違う自分を発見できる場所。将来またクルーズに乗るなら、もっと英語を話せるようになって、より深い交流ができたらいいと思う。この体験をきっかけに、「国際的な環境で働く」「世界をもっと知る」といった目標が明確になった。クルーズは、ただの観光以上に、自分の価値観や可能性を広げてくれる最高の“教室”だと感じた。
15. 外国人クルーとの交流では、英語によるコミュニケーションを通じて実践的な語学力を試す機会となり、自信にもつながった。文化や働き方の違いについて直接話を聞くことで、多様性の重要性を実感した。これらの交流は、教育的観点か

らも非常に価値が高く、今後も積極的に取り入れていくべきである。

16. 外国客船での外国人クルーとの交流は刺激的で、新たな文化や価値観に触れられたが、英語力の不足で伝えきれないもどかしさも感じた。小さな失敗もあったが、それも旅の思い出として楽しめた。将来はさらに多言語対応や交流の場が増え、より気軽に国際的な体験ができるクルーズになることを楽しみに待ちたいです。
17. 船内がほぼ英語と聞いていたので少し不安ではあったが、つたない英語でも頑張ればなんとか伝わり仲良くなれるので積極的にコミュニケーションをとる楽しさを知ることができた。ただ英語がもっとわかればより楽しめる部分も多く感じたので英語を学びたいと思った。クルーの方がみんなフレンドリーで話すのが楽しかった。総じて、今回のクルーズでの体験は絶対記憶に残る思い出のひとつになり、非常に楽しい思い出である。
18. 英語はとても重要なものだが、座学では感じられない英語の楽しさを実感した。自分の英語が伝わらなかったらと不安になることもあったが何とか伝わったときの嬉しさがあった。ダンスパーティーやカジノでは外国のお客さんと一期一会で盛り上がることもできたのはいい経験だった。
19. 外国客船での体験は、まさに異文化交流の連続で刺激的であり、外国人クルーとのやりとりでは英語の必要性を痛感し、伝えきれずもどかしい場面も多々あった。しかしながらそれも含めて良い経験になったと感じる。多国籍な雰囲気の中で非日常を味わえたことは自分の中では大きな財産になっていくと感じるし、自分の価値観がこのクルーズに参加する前に比べて少し変化した。
20. 英語が堪能でなくてもなんとかなる、という安心感はあったが、より深くコミュニケーションを取り、クルーズを最大限に楽しむためには、やはり英語力もとい言語能力は大きな武器になると感じた。フレンドリーに話しかけてくれるクルー達に感動を覚えた。一方でやはり船内での金銭面が気になる瞬間が複数回あったため次回以降参加できる機会があれば余裕をもって参加したいと感じた。
21. 何度も繰り返すが今回のクルーズを総合的に鑑みると、とても良い経験になった。失敗も含めて、人生経験の糧になった。調子に乗って BET する人を眺めたり食べすぎたり、主に金銭面において支出過多になったような気もしますが、勉強代として捉えれば納得できる。ありがとうございました。
22. 一番の思い出はカメラマンのクルーとの出会いだ。最初は高い写真を売りつけられるのではと警戒していたが、買わなくてもいいと言われ、撮影してもらったのだが、ポーズを指定されたり、満面の笑みで褒められたり、逆にちょっと首をかしげられたり楽しかった。毎日で会うたびに撮ろうよと声をかけてくるので、最終

日には名前を言い合って握手をしたのがとてもいい思い出だ。

23. 自分は英語がある程度できるので大きなトラブルはありませんでしたが、やはり細かいニュアンスまで理解できるようになりたいと感じました。外国人クルーとのやり取りはとても貴重で、生きた英語に触れる良い機会です。特に後輩たちが積極的に英語を話そうとしている姿を見ると、このクルーズが挑戦と成長の場になっていることを実感し、本当に素晴らしい経験だと思います。今後もこのような機会が続き、自分自身もさらに語学力を高めていけたらと思います。あと、楽しかったです!!!
24. 日本発着の船だと手続きなどのコミュニケーションが日本語でできるので、クルーズでの旅行が初めての人や英語に不安を感じている人は安心して乗れると思った。しかし、ショーやパーティーで毎回日本語の通訳が入るのは少し現実世界に戻されるような感覚になったのが残念だった。外国のパーティーならではの非日常を味わえるのが外国客船の強みだと思った。
25. クルーズ内でのスタッフとのコミュニケーションが円滑に進まない度に、自分の勉強不足を恨んだ。クルーズ船は人生でもう一度行きたいと思えるほどに快適だったので、余裕のある老後を過ごしたい。クルーズ船も良かったが、それは一緒に過ごした人達がいい人達だったおかげ。次も同じメンバーで行きたいと思えるほどに皆優しくて面白い人達だった。
26. 英語はフィーリングで何とかかなると思っていたが、実際何とかならないことのほうが多かった。僕が全然聞き取れなくて困らせたこともあったし、お会計が出来ないこともあった。でもそれも今となってはいい経験だ。この経験から僕は英語を勉強するようになった。最初はクルーズなんて興味なかったが、行ってみると180度意見が変わる。そんな旅だった。

* * *